

2025年福島県透析患者 実態調査報告書

福島県腎臓病協議会



本調査は、皆様からお寄せいただいた赤い羽根
共同募金が活用されています。

発刊に際して

福島県腎臓病協議会（以下、県腎協）が2025、2026年の2年をかけて調査、集計、分析作業を続けていた「2025年県透析患者実態調査報告書」がこのほど発刊の運びとなりました。県腎協は5年ごとに実態調査報告書を発刊してきましたが、前回の当該年の2020年は世界的な新型コロナの流行により実施できず、2015年以来の10年ぶりの発刊となります。

今回で通算6回目の発刊となる実態調査ですが、会員の高齢化、医師不足など透析患者を取り巻く環境は大きく変化しております。中でも高齢化の影響は大きく、通院、介護、社会保障など各方面で影響がみられます。また、日本大震災・東京電力福島第一原発事故の被災県である本県にとって災害対策も重要な問題となっており、質問項目を設け、患者の皆さんに意見を伺いました。さらに県腎協の存在にも大きく影響する会員の減少についても調査項目を設けました。

県内の透析施設のご協力で、回収率も約67%と大きな成果を得ることができました。これら透析患者様からの貴重な調査結果を県腎協活動の柱である各種の政策提言として反映するとともに、所期の目的である透析医療の社会的理解の促進と腎疾患総合対策の早期確立の一助となるよう努めます。

最後に共催いただいた日本透析医会福島県支部はじめ、助成いただいた福島県共同募金会、県、県医師会などの後援団体、調査にご協力いただいた県内の主な透析施設に心より感謝申し上げます、発刊のごあいさつとさせていただきます。

2026年7月吉日

福島県腎臓病協議会

会 長 近 藤 正 幸

2025年福島県透析患者実態調査後援、協力団体一覧

●主 催

福島県腎臓病協議会

●共 催

日本透析医会福島県支部

●後 援

福島県

公立大学法人福島県立医科大学

一般社団法人福島県医師会

一般社団法人福島県病院協会

一般社団法人福島県臨床工学技士会

公益社団法人福島県看護協会

公益社団法人福島県栄養士会

社会福祉法人福島県共同募金会

公益社団法人福島県臓器移植推進財団

一般社団法人全国腎臓病協議会

●協力施設

大原総合病院

わたり病院

済生会福島総合病院

福島第一病院

さとう内科医院

本田内科医院

佐久間内科

蓬萊東クリニック

福島南病院

おぎはら泌尿器と腎のクリニック

福島セントラルクリニック

公立藤田総合病院

上保原内科

JCHO二本松病院

枅記念病院

谷病院

太田総合病院附属太田西ノ内病院

寿泉堂クリニック

星総合病院

めらクリニック

すずきクリニック

あさかホスピタル

あさか野泌尿器透析クリニック

じんキッズクリニック

須賀川病院

須賀川クリニック

白河厚生総合病院

白河病院

しらかわ透析・内科クリニック

白河ひがし透析・内科クリニック

県立医科大学会津医療センター附属病院

竹田総合病院

会津中央病院

会津クリニック

入澤泌尿器科内科クリニック（当時）

飯塚病院附属有隣病院

喜多方腎泌尿器クリニック

公立相馬総合病院

南相馬市立総合病院

大町病院

ときわ会常磐病院

ときわ会いわき泌尿器科

ゆうクリニック

かもめクリニック

ニュータウン腎・内科クリニック

ときわ会富岡クリニック

おなはま腎・泌尿器科クリニック

かもめ大津港クリニック

（順不同）

目 次

発刊に際して

2025年福島県透析患者実態調査後援、協力団体一覧

I. 本調査の目的と方法

1. 調査の目的	1
2. 調査対象と方法	
(1) 調査対象者の選定	1
(2) 調査方法と実施時期	1
(3) 調査項目の構成	1
3. 調査の実施状況と結果の分析方法	2
(1) 調査の実施状況	2
(2) 分析方法	2
(3) 参考文献	2

II. 設問ごとのデータとワンポイント

1. 基本的事項	
問1 あなたの性別は	3
問2 あなたは同居している家族はいますか	4
問3 あなたは何歳ですか	5
問4 あなたのお住まいはどこですか	6
問5 あなたの職業は何ですか	7
問6 無職の方に伺います。働く意志はありますか	8
問7 あなたの昨年の年収はいくらでしたか（年金を含む）	9
2. 治療状態	
問8 あなたが透析を受けている医療施設は次のどれですか	10
問9 慢性腎不全（透析）になった主な原因は何ですか	11
問10 腎臓の病気はどうしてわかりましたか	12
問11 病気になってから透析（腹膜透析を含む）導入までの期間はどのくらいでしたか	13
問12 透析（腹膜透析を含む）を受けるようになってからどのくらいになりますか	14
問13 現在の透析方法は何ですか	15
問14 あなたの1回あたりの透析時間は	16
問15 あなたの透析開始は通常何時頃からですか	17
問16 あなたは合併症がありますか	18
問17 この3年間に入院の経験のある方にお尋ねします。入院の主な原因は何ですか	19
問18 日常の食事でどんな点に注意していますか	20

3. 保険・医療費

問19	あなたは医療保険を受けていますか	21
問20	あなたの医療保険は次のどれですか	22
問21	あなたの医療費で本人負担の支払い方法は次のどれですか	23

4. 通院・介護

問22	あなたの透析施設への主な通院手段は何ですか	24
問23	通院時間は片道どのくらいかかりますか	25
問24	あなたの1カ月の通院費は大体いくらですか	26
問25	あなたは福島県人工透析患者通院交通費助成を受けていますか	27
問26	問25で「2. 受けていない」と回答された方にお聞きします。 受けていない理由を選んでください	28
問27	日常生活で介護を受けていますか	29
問28	問27で「1. 全て受けている」「2. 一部受けている」と回答された方にお聞きします。 主に介護をしているのはどなたですか	30
問29	あなたは介護保険を利用していますか	31
問30	問29で「1. はい」と回答された方にお聞きします。 介護の認定はどれですか	32
問31	問29で「1. はい」と回答された方にお聞きします。 あなたの介護保険の利用負担は月額いくらですか	33

5. 移 植

問32	あなたは移植を受けたことがありますか	34
問33	問32で「1. ある」と回答された方にお聞きします。 どなたから臓器の提供を受けましたか	35
問34	あなたは臓器移植を希望しますか	36
問35	問34で「2. いいえ」と回答された方にお聞きします。 希望しない理由は何ですか	37

6. 腎友会など

問36	腎友会に入っていますか	38
問37	問36で「2. いいえ」と回答された方にお聞きします。 腎友会に入らない理由は何ですか	39
問38	災害の対策はしていますか	40
問39	透析を続けていて将来に向けて不安なことはありますか	41

Ⅲ. 調 査 票

〔本調査の目的・方法〕

I. 本調査の目的と方法

1. 調査の目的

福島県内の透析患者の実態を総合的に調査し、医療、福祉、生活の問題点を明確にすることを目的とし、福島県腎臓病協議会（以下、県腎協とする）の会員はじめ県内の透析患者を対象に調査を行ってきた。本報告書は5年毎に実施してきたが、前回当該年の2020年は新型コロナの流行で実施できず、今回は2015年以来10年ぶりの調査、分析だった。

本調査は県腎協主催、日本透析医会県支部共催、県、県立医科大学、県医師会、県病院協会、県臨床工学技士会、県看護協会、県栄養士会、県共同募金会、県臓器移植推進財団、全国腎臓病協議会の後援、それに県内の各透析施設のご協力で実施された。腎友会がある医療機関については腎友会が中心となり、未組織の医療機関については院長、医師、透析スタッフのご協力を得て実施された。

透析は非常に長期にわたる治療が必要だが、治療技術の発達などで長期生存が可能となり、このため長期の安定した人生設計が求められる。そのため質の高い透析医療を実現するためには、社会保障の整備が必須となる。この調査により、患者の身体状態と医療、福祉、生活の実態を明確にしてより質の高い透析ライフを実現することを目指し、関係機関にその改善、充実、更なる整備を求めていく。

2. 調査対象と方法

(1) 調査対象者の選定

福島県内の人工透析患者は5,207名（日本透析学会のわが国の慢性透析療法の現況・2024年12月31日現在による）であり、2025年7月1日現在の患者総数を5,000名と推定して分析することにした。

(2) 調査方法と実施期間

調査は自書式調査票を用い、調査対象となった患者自身が回答することを原則としたが、自書できない患者や補助が必要な患者については調査主体である県腎協が施設長宛てに回答記載の補助を要請する文書を送付し協力をお願いした。回答は2025年7月1日を基準日とし、調査票の回収には約1カ月を要した。

(3) 調査項目の構成

調査項目は新設問5を含む39で（1）基本事項、（2）治療状態、（3）保険・医療費など、（4）通院・介護、（5）移植、（6）腎友会などを構成項目とした。

3. 調査の実施状況と結果の分析方法

(1) 調査の実施状況

県内の78の透析施設に調査協力を要請したところ、48施設から協力受諾があり、これらの施設に合わせて約3,400票の調査票を配布した。その結果、2,253票の調査票が回収された。回収率は66.3%であり、回収は腎友会のある医療機関では腎友会やスタッフが、腎友会のない医療機関では医療機関のスタッフの協力で回収した。2,253票の調査票は全て有効な回答として集計対象とした。

(2) 分析方法

この調査報告書は、対象となった患者の医療・生活実態を明確にして患者会の目的である政治、行政への問題提起、提言に沿った分析に努めた。

個別のデータ分析では10年前の同一の設問データと比較することにより制度、施策の変遷による治療・患者の生活の変化に着目することを原則とした。10年前の調査ではなかった設問に関しては単独でデータ分析した。

(3) 参考文献

1. 日本透析学会の「わが国の慢性透析療法の現状（2024年12月31日現在）」
2. 福島県障がい者総合福祉センター「令和7年度版（6年度実績）業務概要」

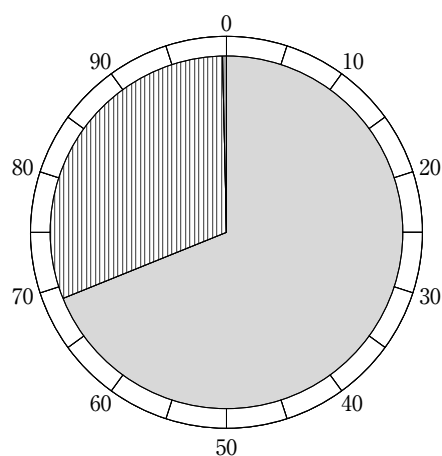
〔設問ごとのデータとワンポイント〕

Ⅱ．設問ごとのデータとワンポイント

1．基本的事項

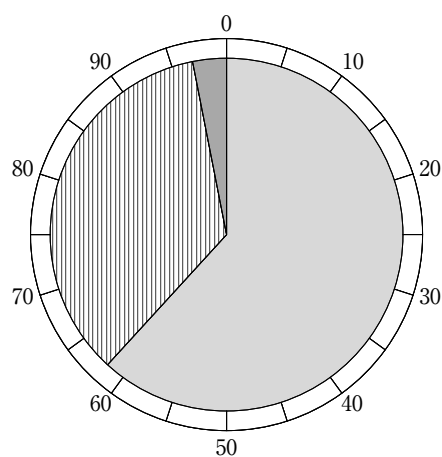
問1．あなたの性別は

2025年度調査集計



項 目	人数	割合(%)
男性	1,552	68.89
女性	693	30.76
無回答	8	0.36
合 計	2,253	100.00

2015年度調査集計

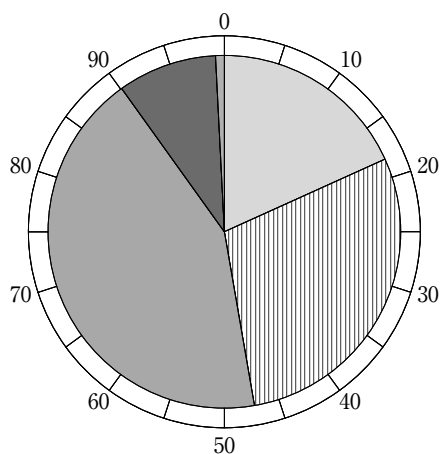


項 目	人数	割合(%)
男性	1,721	61.79
女性	978	35.12
無回答	86	3.09
合 計	2,785	100.00

💡 ワンポイント

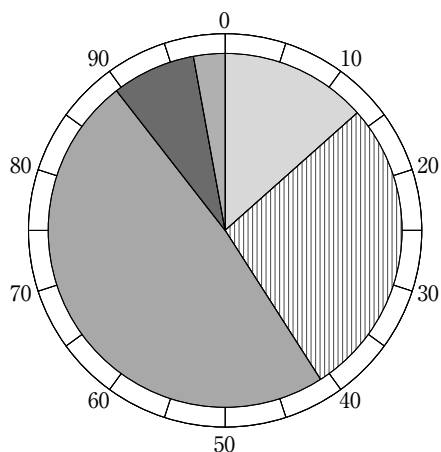
男女の比率は68.9%対30.8%と2015年（以下、前回とする）の6対4より男性の割合が増えている。2024年末の日本透析医学会調べの全国の透析患者の男女比は男性67.2%,女性32.8%で概ね本県も近い数字となっている。

問2. あなたは同居している家族はいますか
2025年度調査集計



項 目	人数	割合 (%)
一人暮らし	411	18.24
配偶者のみ	654	29.03
配偶者及び子ども、親ら親族	965	42.83
その他	205	9.10
無回答	18	0.80
合 計	2,253	100.00

2015年度調査集計



項 目	人数	割合 (%)
一人暮らし	374	13.43
配偶者のみ	766	27.50
配偶者及び子ども、親ら親族	1,352	48.55
その他	213	7.65
無回答	80	2.87
合 計	2,785	100.00

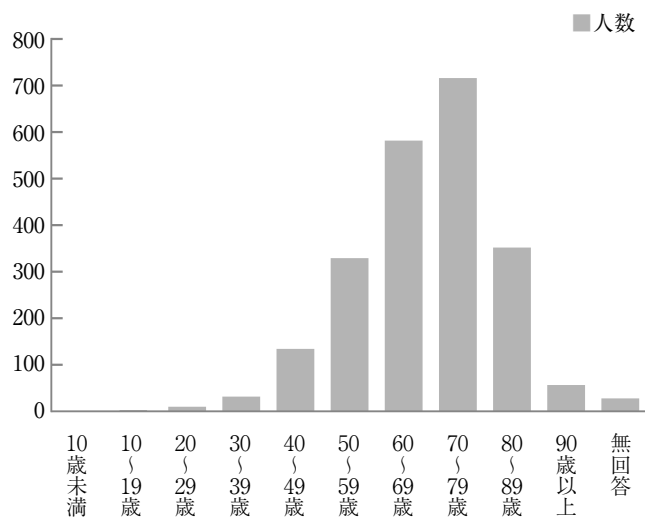


ワンポイント

前回に比べ「一人暮らし」が約5割、「配偶者のみ」が約1.5割それぞれ増えている。「配偶者及び子ども親ら親族」は約6割減っており、患者世帯の高齢化、核家族化が進んでいることが推測され、これに伴う在宅介護、通院支援、施設入所問題の解決が重要となる。

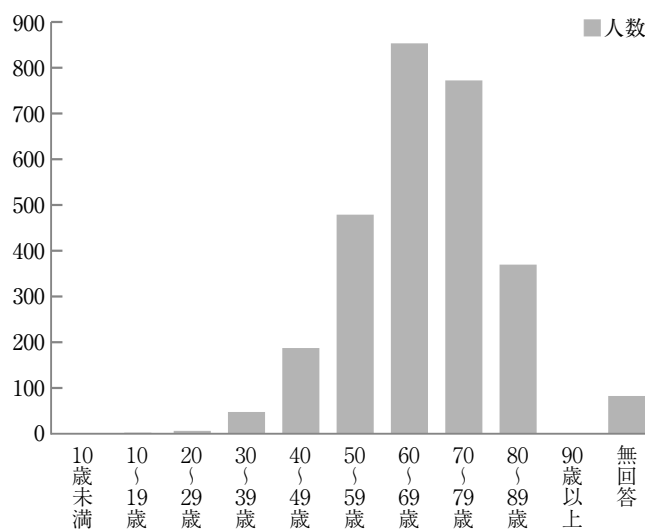
問3. あなたは何歳ですか

2025年度調査集計



項 目	人数	割合(%)
10歳未満	0	0.00
10～19歳	1	0.04
20～29歳	10	0.44
30～39歳	32	1.42
40～49歳	135	5.99
50～59歳	331	14.69
60～69歳	585	25.97
70～79歳	720	31.96
80～89歳	354	15.71
90歳以上	57	2.53
無回答	28	1.24
合 計	2,253	100.00

2015年度調査集計



項 目	人数	割合(%)
10歳未満	0	0.00
10～19歳	1	0.03
20～29歳	5	0.17
30～39歳	46	1.67
40～49歳	186	6.67
50～59歳	477	17.13
60～69歳	851	30.56
70～79歳	770	27.64
80～89歳	368	13.22
90歳以上	0	0.00
無回答	81	2.91
合 計	2,785	100.00



ワンポイント

年齢層では「70～79歳」が最も多く次いで「60～69歳」「80～89歳」の順。前は「60～69歳」が多層、続いて「70～79歳」で今回、逆転した。日本透析医学会の調査ではわが国の透析患者の平均年齢は70.27歳と70歳を超えた（2024年末現在）。前は67.86歳で患者の高齢化を裏付けている。

問4. あなたのお住まいはどこですか

2025年度調査集計

市町村名	人 数		市町村名	人 数		市町村名	人 数	
福島市	282	(426)	北塩原村	7	(2)	古殿町	9	(6)
会津若松市	137	(228)	西会津町	2	(8)	三春町	13	(13)
郡山市	309	(368)	磐梯町	1	(3)	小野町	0	(5)
いわき市	643	(626)	猪苗代町	5	(1)	広野町	4	(7)
白河市	65	(106)	会津坂下町	8	(24)	檜葉町	8	(2)
須賀川市	152	(144)	湯川村	5	(7)	富岡町	0	(2)
喜多方市	84	(65)	柳津町	1	(4)	川内村	0	(1)
相馬市	5	(24)	三島町	0	(0)	大熊町	2	(1)
二本松市	84	(50)	金山町	0	(2)	双葉町	0	(0)
田村市	11	(48)	昭和村	1	(4)	浪江町	5	(4)
南相馬市	36	(37)	会津美里町	14	(46)	葛尾村	0	(0)
伊達市	82	(82)	西郷村	20	(22)	新地町	1	(3)
本宮市	26	(18)	泉崎村	8	(6)	新飯館村	0	(2)
桑折町	21	(25)	中島村	5	(4)	県外	3	(20)
国見町	16	(12)	矢吹町	11	(17)	無回答	53	(121)
川俣町	9	(31)	棚倉町	11	(31)			
大玉村	19	(12)	矢祭町	0	(12)			
鏡石町	18	(11)	塙町	1	(15)			
天栄村	6	(8)	鮫川村	0	(6)			
下郷町	7	(6)	石川町	15	(15)			
檜枝岐村	0	(0)	玉川村	4	(9)			
只見町	4	(5)	平田村	4	(2)			
南会津町	7	(20)	浅川町	9	(6)	合 計	2,253	(2,785)

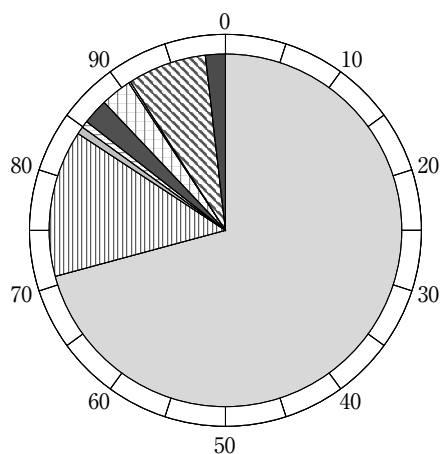
() 内は2015年の人数

ワンポイント

回答者が本県全透析患者の約44%でこの数字で市町村の患者数を判断することはできないが、多いのはいわき、郡山、福島の前で前回と比べ、郡山、福島が逆転している。県の調査によると内部障がい（腎臓）の障害者手帳の保持者数はいわき、郡山、福島の前。いわきには東日本大震災による相双からの避難者が多く含まれていることが推測される。

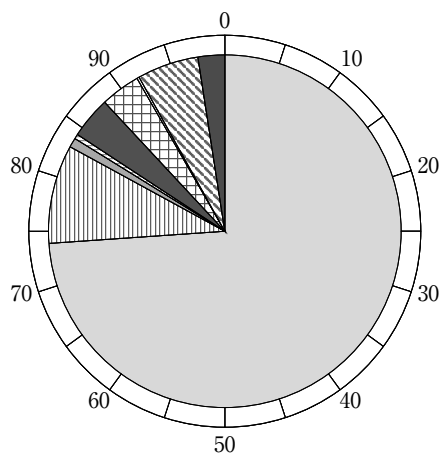
問5. あなたの職業は何ですか

2025年度調査集計



項 目	人数	割合 (%)
無職	1,595	70.79
会社員	303	13.45
公務員	16	0.71
団体職員	14	0.62
農林漁業の自営	53	2.35
商工サービス業の自営	64	2.84
学生	4	0.18
その他	163	7.23
無回答	41	1.82
合 計	2,253	100.00

2015年度調査集計



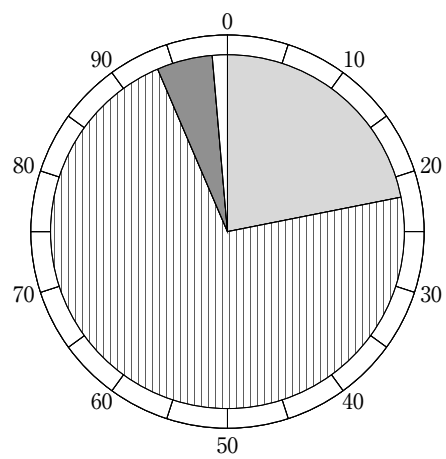
項 目	人数	割合 (%)
無職	2,058	73.90
会社員	252	9.05
公務員	24	0.86
団体職員	13	0.43
農林漁業の自営	106	3.82
商工サービス業の自営	101	3.64
学生	6	0.22
その他	157	5.64
無回答	68	2.44
合 計	2,785	100.00



ワンポイント

「無職」「会社員」の上位の順に変わりはないが「無職」の割合が減少している。一方、高齢化に加え、患者の平均年齢が前回より3歳近く上がっている。定年の延長や働くことができる元気な高齢者の増加などが推測されるが、老齢年金だけでは生活できない高齢者が増えているのが原因となれば、その対策は県腎協活動の目標となる。

問6. 無職の方に伺います。働く意志はありますか（新設問）
 2025年度調査集計



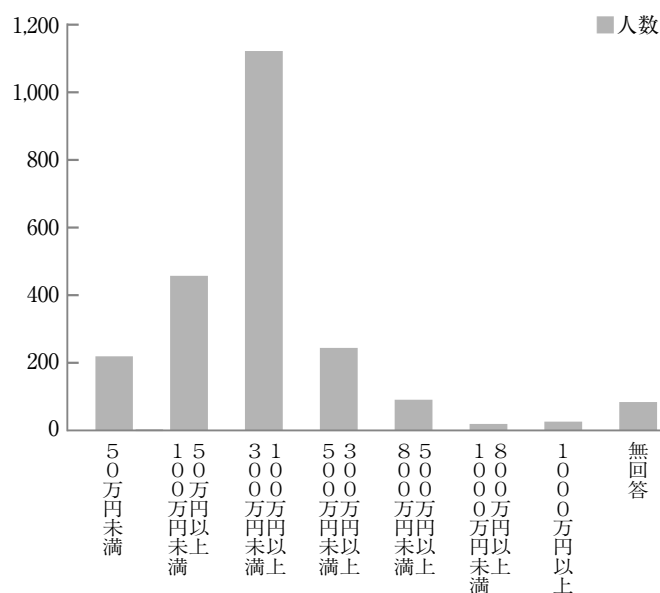
項 目	人数	割合(%)
ある	349	21.88
いいえ	1,143	71.66
その他	81	5.08
無回答	22	1.38
合 計	1,595	100.00

 ワンポイント

新設問で現在、無職の方に働く意志の有無を聞いた。21.88%が働く意志を持っているが、現役世代で職に就いていないのか、高齢で働く意志があるのかは定かでない。「いいえ」の理由としては「高齢のため」が多く、「体調不良」「疲労感」「施設に入っているなどから」など「働きたいけど働けない」との回答が目立った。

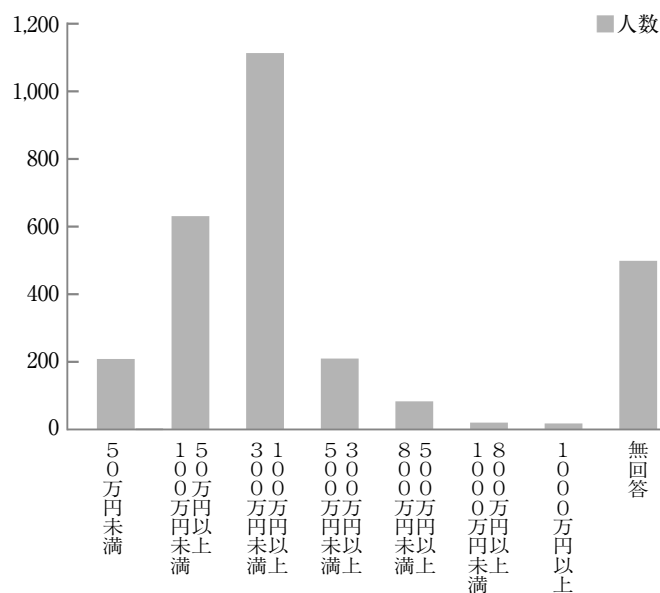
問7. あなたの昨年の年収はいくらでしたか（年金を含む）

2025年度調査集計



項 目	人数	割合(%)
50万円未満	218	9.68
50万円以上100万円未満	456	20.24
100万円以上300万円未満	1,120	49.71
300万円以上500万円未満	243	10.79
500万円以上800万円未満	90	3.99
800万円以上1000万円未満	18	0.80
1000万円以上	25	1.11
無回答	83	3.68
合 計	2,253	100.00

2015年度調査集計



項 目	人数	割合(%)
50万円未満	208	7.47
50万円以上100万円未満	633	22.73
100万円以上300万円未満	1,118	40.15
300万円以上500万円未満	209	7.51
500万円以上800万円未満	82	2.94
800万円以上1000万円未満	19	0.68
1000万円以上	16	0.57
無回答	500	17.95
合 計	2,785	100.00

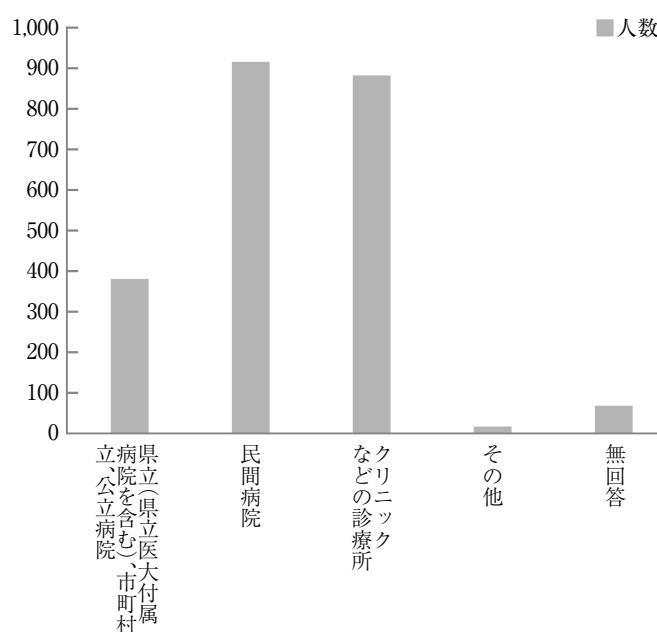


「100万円以上300万円未満」が最多層で割合も40%台と前回と変わらない。「50万円未満から300万円未満」層の合計は79.63%と前回の70.35%に比べ約10%増えており、この10年間で年収がそれほど増えていないことが分かる。無年金者とみられる「50万円未満」も2%強増えている。

2. 治療状態

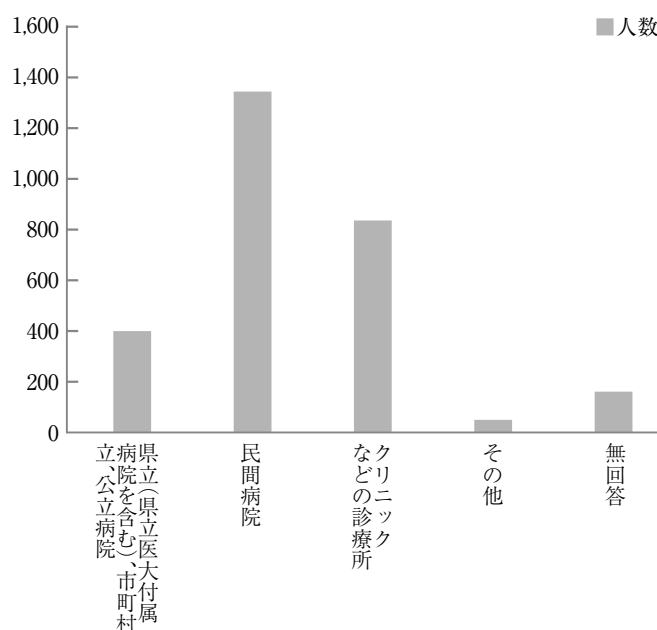
問8. あなたが透析を受けている医療施設は次のどれですか

2025年度調査集計



項 目	人数	割合(%)
県立(県立医大付属病院を含む)、市町村立、公立病院	379	16.82
民間病院	911	40.43
クリニックなどの診療所	878	38.97
その他	17	0.75
無回答	68	3.02
合 計	2,253	100.00

2015年度調査集計



項 目	人数	割合(%)
県立(県立医大付属病院を含む)、市町村立、公立病院	398	14.29
民間病院	1,345	48.29
クリニックなどの診療所	835	29.99
その他	48	1.72
無回答	159	5.71
合 計	2,785	100.00

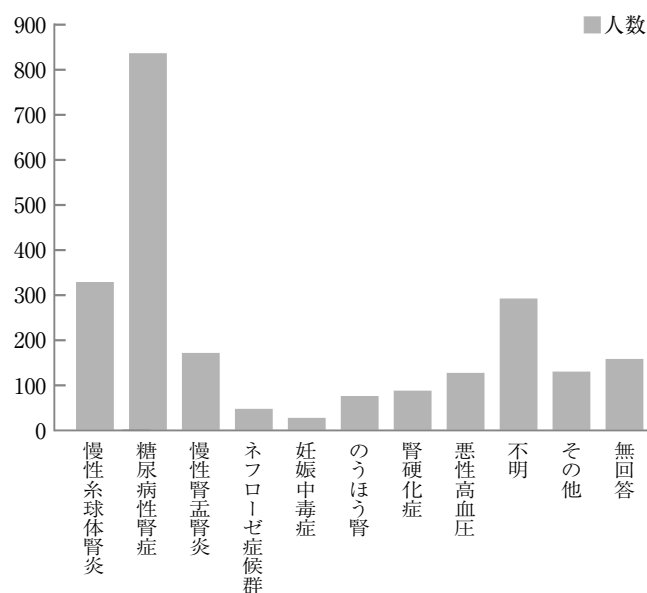


ワンポイント

「県立、市町村立、公立病院」の割合が2.5%増えたものの、全体として79%が民間病院、クリニックなど民間施設に依存している。県内に公的な透析施設が少ないことも原因と推測される。民間病院とクリニックとの違いを知らないと思われる回答もあった。

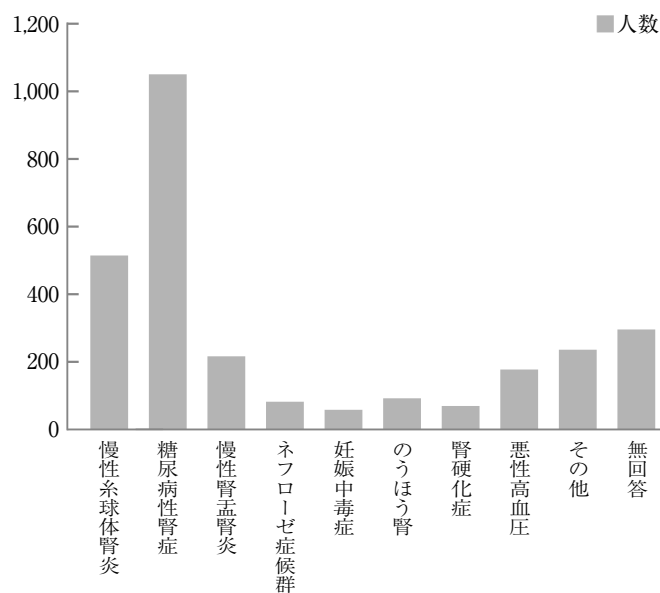
問9. 慢性腎不全（透析）になった主な原因は何ですか

2025年度調査集計



項 目	人数	割合(%)
慢性糸球体腎炎	325	14.43
糖尿病性腎症	829	36.80
慢性腎盂腎炎	169	7.50
ネフローゼ症候群	46	2.04
妊娠中毒症	26	1.15
のうほう腎	74	3.28
腎硬化症	86	3.82
悪性高血圧	125	5.55
不明	289	12.83
その他	128	5.68
無回答	156	6.92
合 計	2,253	100.00

2015年度調査集計



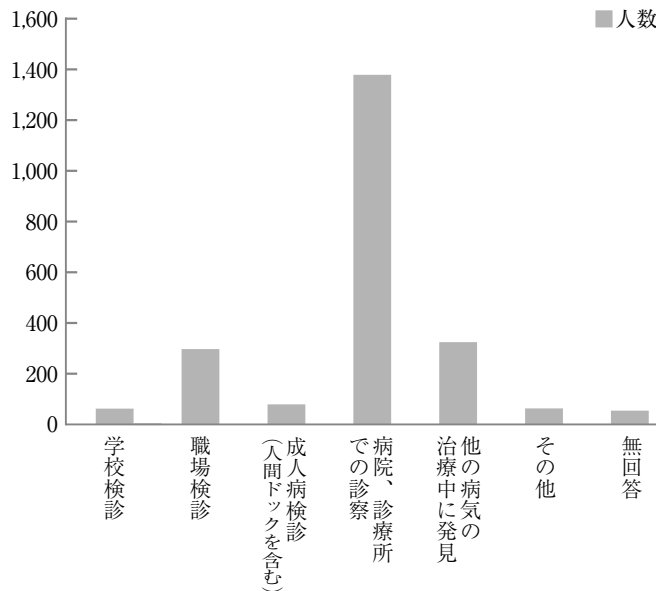
項 目	人数	割合(%)
慢性糸球体腎炎	513	18.42
糖尿病性腎症	1,048	37.63
慢性腎盂腎炎	216	7.76
ネフローゼ症候群	82	2.94
妊娠中毒症	58	2.08
のうほう腎	92	3.30
腎硬化症	69	2.48
悪性高血圧	177	6.36
その他	235	8.44
無回答	295	10.59
合 計	2,785	100.00

ワンポイント

「糖尿病性腎炎」が最も多く、次いで「慢性糸球体腎炎」「慢性腎盂腎炎」の順は前回と変わらない。2011年にそれまでトップだった「慢性糸球体腎炎」が「糖尿病性腎炎」と入れ替わって以来の傾向。その他では「IGA腎炎」「薬の副作用」など多岐にわたっている。

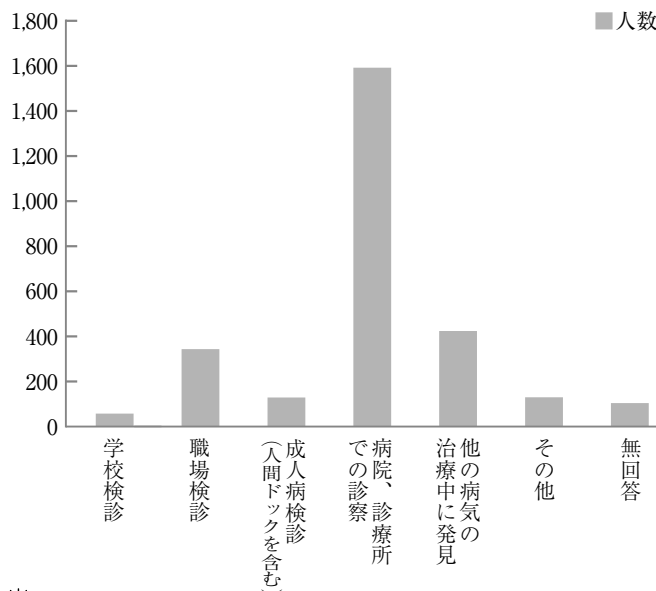
問10. 腎臓の病気はどうしてわかりましたか

2025年度調査集計



項 目	人数	割合(%)
学校検診	62	2.75
職場検診	296	13.14
成人病検診 (人間ドックを含む)	79	3.51
病院、診療所での診察	1,375	61.03
他の病気の治療中に発見	324	14.38
その他	63	2.80
無回答	54	2.40
合 計	2,253	100.00

2015年度調査集計



項 目	人数	割合(%)
学校検診	59	2.12
職場検診	344	12.35
成人病検診 (人間ドックを含む)	130	4.67
病院、診療所での診察	1,590	57.10
他の病気の治療中に発見	425	15.26
その他	131	4.69
無回答	106	3.81
合 計	2,785	100.00

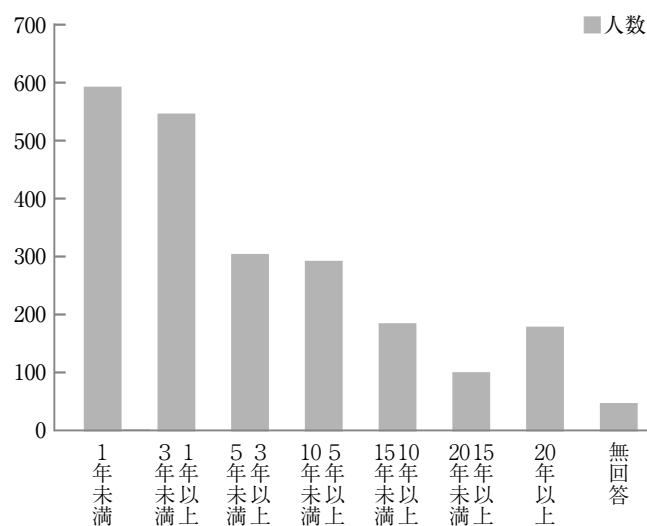


ワンポイント

「病院、診療所での診察」が全体の6割強を占め、次いで「他の病気の治療中」「職場検診」の順は前回と大きな変化はない。「学校健診」「職場検診」「成人病検診」の合計は2割足らずでCKD（慢性腎臓病）対策の早期発見が進んでいないことが推測される。その他では「幼稚園での検尿」「妊娠時の検査」など。

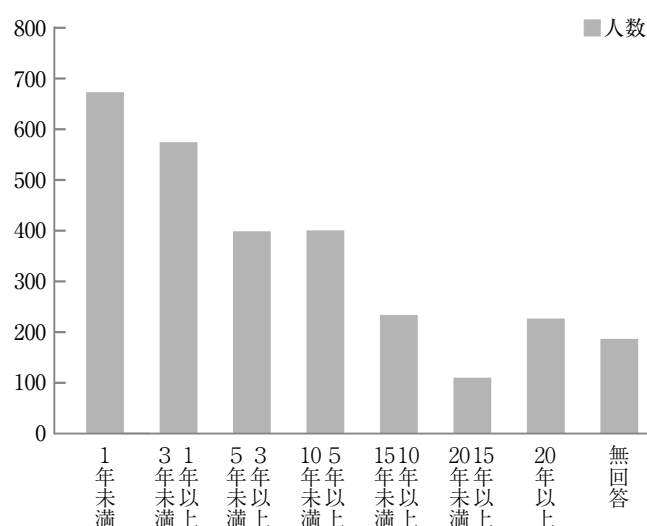
問11. 病気になってから透析（腹膜透析を含む）導入までの期間はどのくらいでしたか

2025年度調査集計



項 目	人数	割合(%)
1年未満	592	26.28
1年以上3年未満	546	24.23
3年以上5年未満	305	13.54
5年以上10年未満	293	13.00
10年以上15年未満	186	8.26
15年以上20年未満	102	4.53
20年以上	180	7.99
無回答	49	2.17
合 計	2,253	100.00

2015年度調査集計



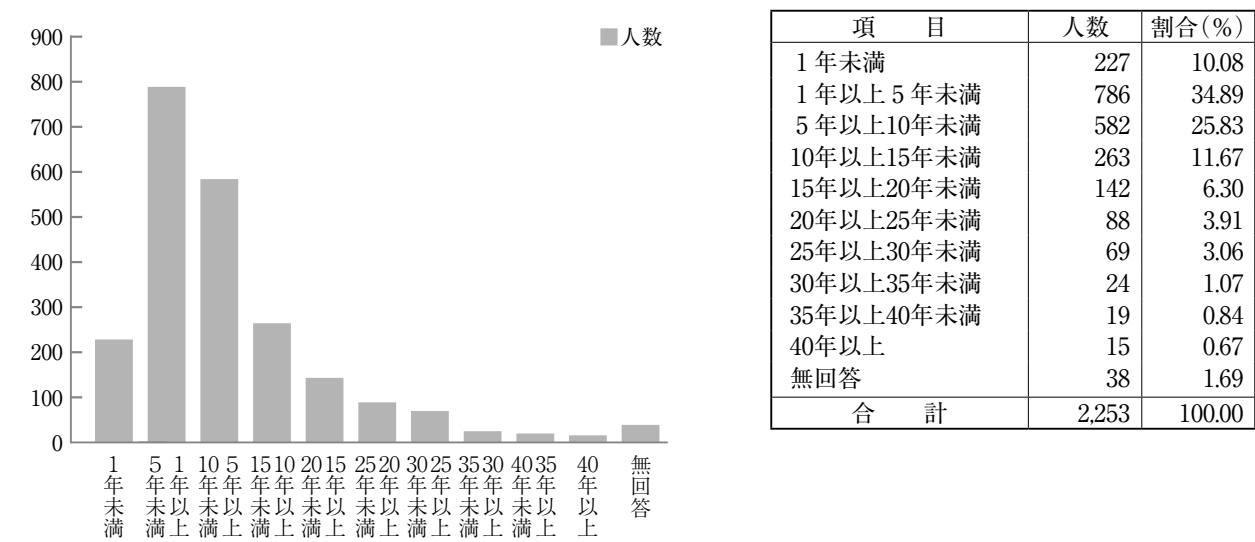
項 目	人数	割合(%)
1年未満	669	24.02
1年以上3年未満	571	20.51
3年以上5年未満	396	14.22
5年以上10年未満	398	14.29
10年以上15年未満	232	8.33
15年以上20年未満	109	3.91
20年以上	225	8.08
無回答	185	6.64
合 計	2,785	100.00

ワンポイント

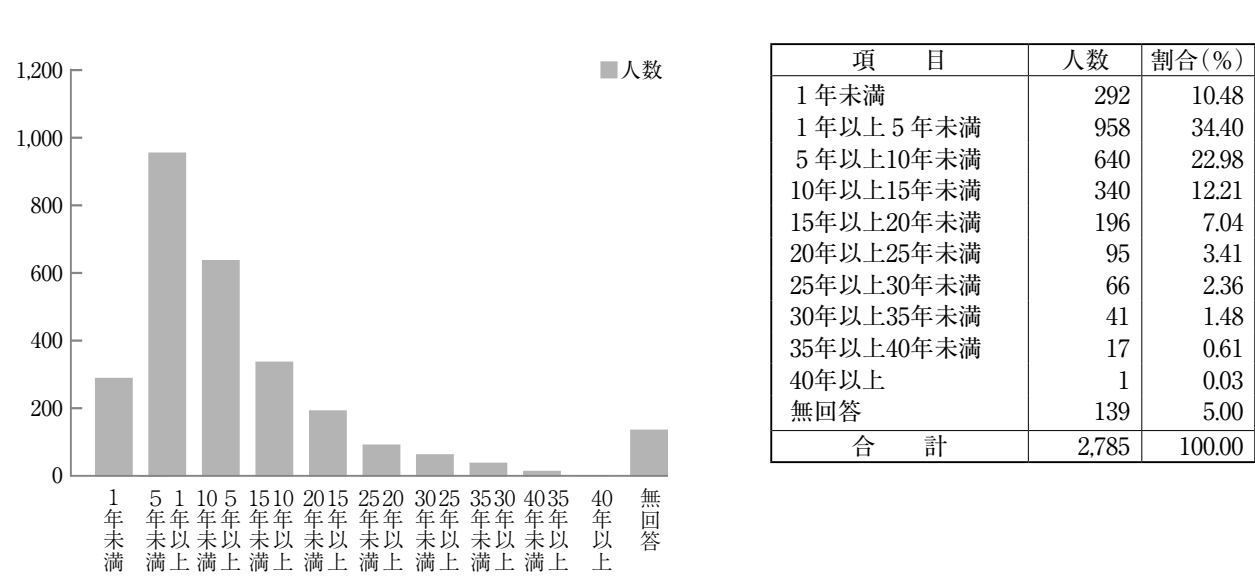
大きな変化はみられないが、「1年未満」から「1年以上3年未満」の合計が5割を超え、病気発見から透析導入までの期間が年々、早まっていることが分かる。一方で病状が相当進行してからの腎疾患の発見も見られCKD対策が強く望まれる。

問12. 透析（腹膜透析を含む）を受けるようになってからどのくらいになりますか

2025年度調査集計



2015年度調査集計

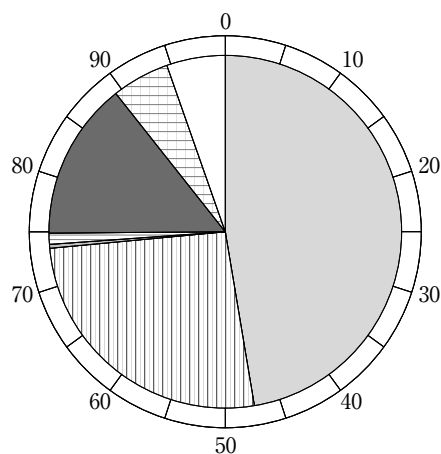


💡ワンポイント

大きな変化は見られない。1年未満から10年未満までの合計が全体の7割を占める。一方で25年以上の合計が1割増加し、中でも40年以上が大幅に増えていることなどから長期透析者は増加傾向にある。日本透析学会によると全国の最長期透析は53年1カ月で平均透析歴は7.54年（2024年末時点）

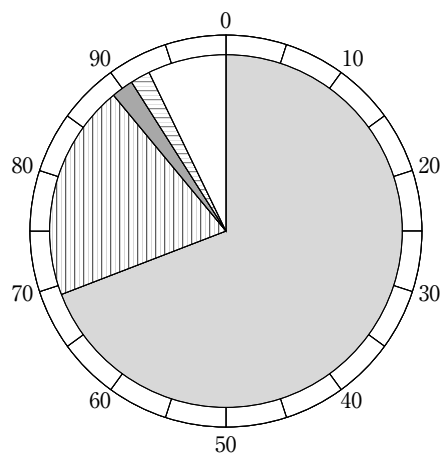
問13. 現在の透析方法は何ですか

2025年度調査集計



項 目	人数	割合 (%)
血液透析 (HD)	1,067	47.36
血液ろ過透析 (HDF)	589	26.14
腹膜透析	8	0.36
血液透析と腹膜透析の併用	23	1.02
オンラインHDF	326	14.47
分からない	119	5.28
無回答	121	5.37
合 計	2,253	100.00

2015年度調査集計



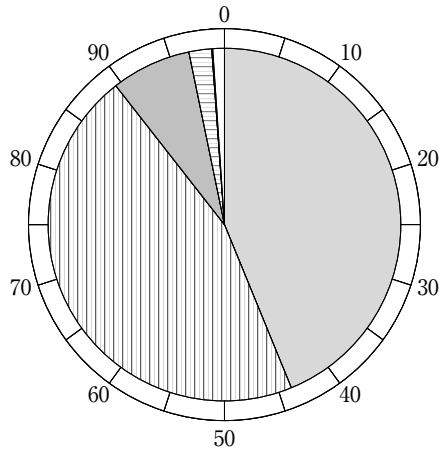
項 目	人数	割合 (%)
血液透析 (HD)	1,926	69.15
血液ろ過透析 (HDF)	553	19.85
腹膜透析	56	2.01
血液透析と腹膜透析の併用	50	1.81
無回答	200	7.18
合 計	2,785	100.00



ワンポイント

選択項目に新たにオンラインHDFが加わった結果、HDのトップは変わらないものの大幅に減り、HDFとオンラインHDFの合計が40.61%とHDFの普及は明らか。一方で腹膜透析が大幅に減少した。全国の腹膜透析 (PD) の割合はHDとの併用を含め3.2%。また、自分の透析方法が「分からない」の回答も5%強あった。

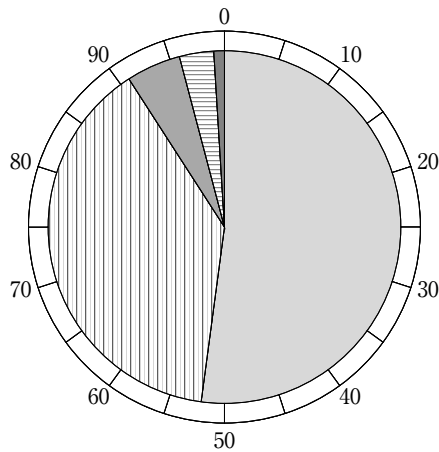
問14. あなたの1回あたりの透析時間は
2025年度調査集計



項 目	人数	割合 (%)
3時間以上4時間未満	987	43.81
4時間以上5時間未満	1,028	45.63
5時間以上6時間未満	165	7.32
6時間以上	47	2.09
その他	2	0.09
無回答	24	1.07
合 計	2,253	100.00

2015年度調査集計

※「血液透析」または「血液ろ過透析」とお答えになった方、1回あたりの透析時間はどの位ですか

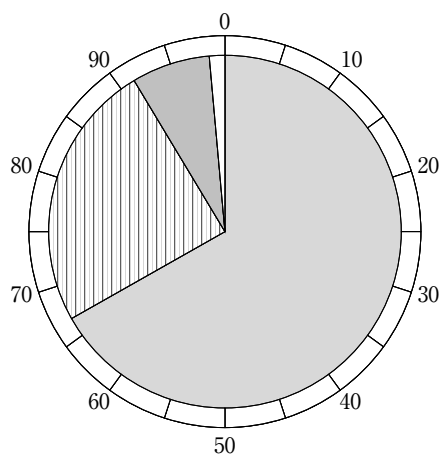


項 目	人数	割合 (%)
3時間以上4時間未満	1,292	52.11
4時間以上5時間未満	961	38.77
5時間以上6時間未満	124	5.00
6時間以上	78	3.15
その他	24	0.97
合 計	2,479	100.00

💡 ワンポイント

「4時間以上5時間未満」が「3時間以上4時間未満」を逆転してトップ。5時間未満が全体の約9割を占めるのは前回と大きな変化はないが、全体的に透析時間は延びているとみられる。その他では「週4回、合計25時間透析」「腹膜透析週6回計11時間」など。

問15. あなたの透析開始は通常何時頃からですか
2025年度調査集計

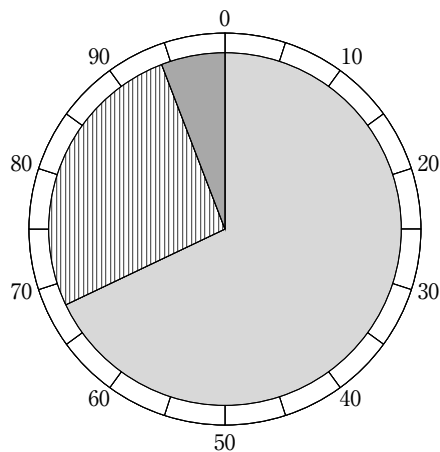


項 目	人数	割合 (%)
午前中	1,505	66.80
正午から午後5時まで	554	24.59
夜間	162	7.19
無回答	32	1.42
合 計	2,253	100.00

夜間（午後5時以降開始または午後9時以降終了）

2015年度調査集計

※「血液透析」または「血液ろ過透析」とお答えになった方、あなたの透析開始時間は、普通何時頃からですか



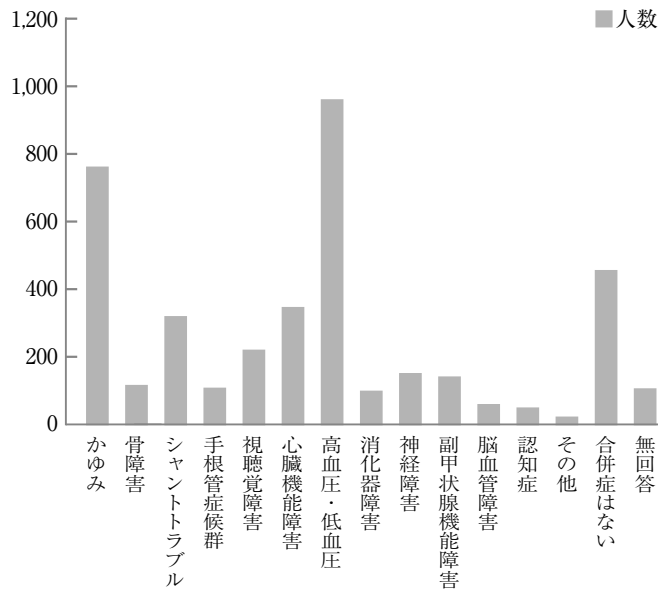
項 目	人数	割合 (%)
朝から正午まで	1,684	67.93
正午から午後5時まで	650	26.22
午後5時以降	145	5.85
合 計	2,479	100.00

💡 ワンポイント

大きな変化はみられない。夜間透析の規定が「午後5時以降に開始、または午後9時以降に終了」と変わったが、前回に比べて割合は増えており、人手不足などを理由に夜間透析中止の施設増加の現状と反する傾向にある。

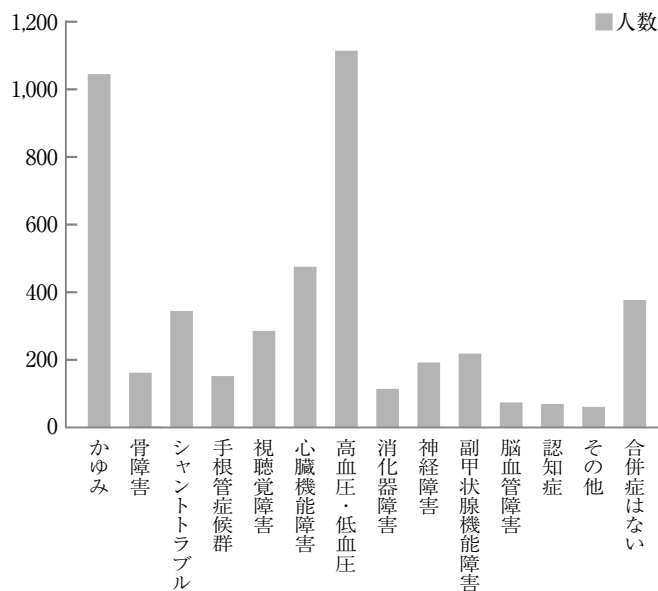
問16. あなたは合併症がありますか（複数回答可）

2025年度調査集計



項 目	人数	割合(%)
かゆみ	763	19.28
骨障害	119	3.01
シヤントトラブル	322	8.14
手根管症候群	111	2.81
視聴覚障害	223	5.64
心臓機能障害	349	8.82
高血圧・低血圧	961	24.29
消化器障害	102	2.58
神経障害	154	3.89
副甲状腺機能障害	144	3.64
脳血管障害	63	1.59
認知症	53	1.34
その他	26	0.66
合併症はない	458	11.57
無回答	109	2.75
合 計	3,957	

2015年度調査集計



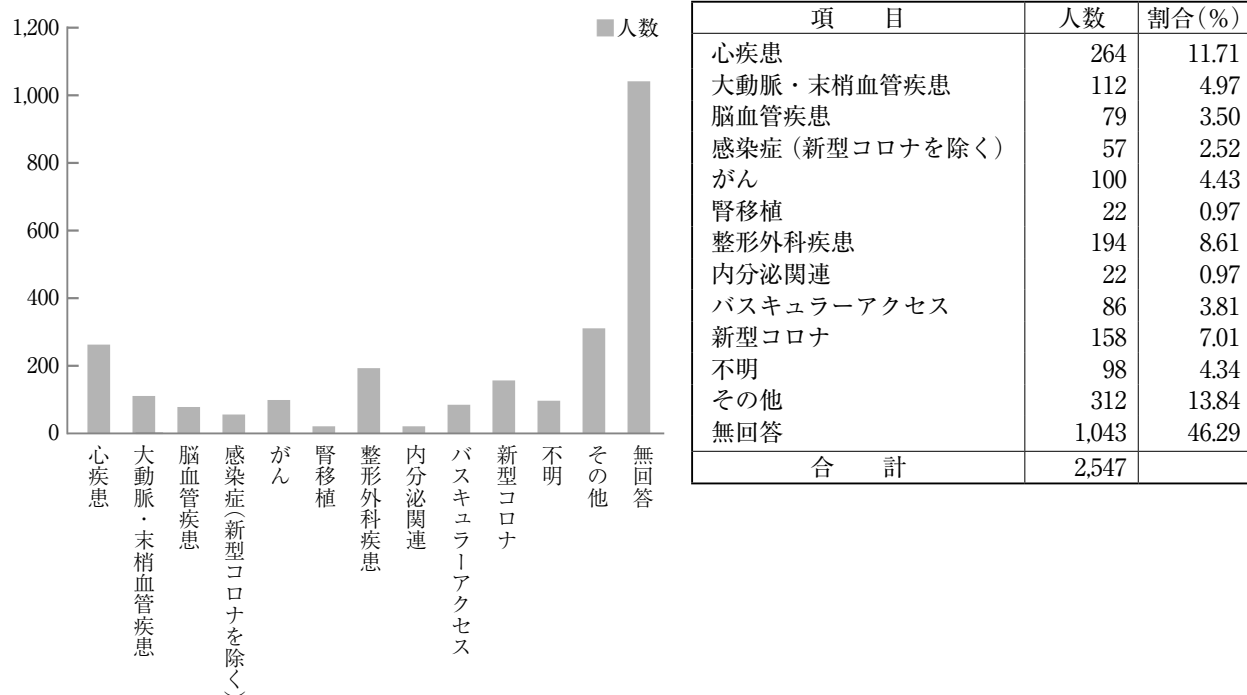
項 目	人数	割合(%)
かゆみ	1,042	22.29
骨障害	162	3.47
シヤントトラブル	344	7.36
手根管症候群	152	3.25
視聴覚障害	285	6.09
心臓機能障害	474	10.13
高血圧・低血圧	1,111	23.76
消化器障害	114	2.44
神経障害	192	4.11
副甲状腺機能障害	218	4.66
脳血管障害	74	1.58
認知症	70	1.49
その他	61	1.30
合併症はない	376	8.04
合 計	4,675	



ワンポイント

合併症では「高血圧・低血圧」「かゆみ」「心臓機能障害」の順位や割合に大きな変化は見られない。一方で「合併症はない」が3.5割増加しており、透析能力の向上に伴う改善がみられる。その他では「足のしびれ」「不整脈」「下肢動脈狭窄」など。

問17. この3年間に入院の経験のある方にお尋ねします。入院の主な原因は何ですか（新設問・複数回答可）
2025年度調査集計

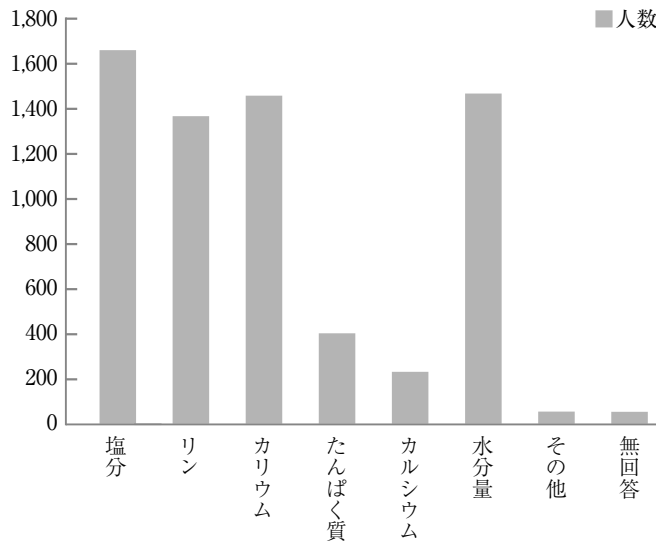


💡 ワンポイント

新設問で入院の原因で多いのは「心疾患」「整形外科疾患」「新型コロナ」の順。コロナが上位なのは時代を反映している。その他ではシャントトラブル、PTA(シャント拡張術)などの回答が多く、「バスキュラーアクセス」は実際には数字的にもっと大きくなると推測される。「無回答」は入院経験なしと判断。その他に「糖尿病」「骨折などのけが」「白内障」など。

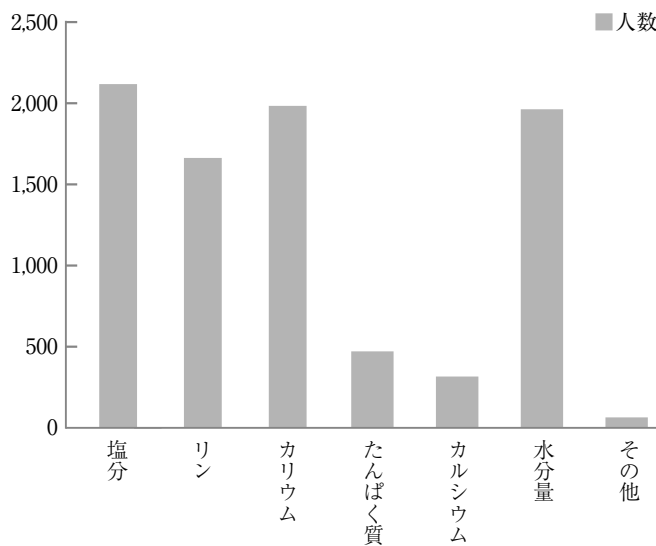
問18. 日常の食事でどんな点に注意していますか（複数回答可）

2025年度調査集計



項 目	人数	割合 (%)
塩分	1,658	73.59
リン	1,365	60.58
カリウム	1,456	64.62
たんぱく質	401	17.79
カルシウム	230	10.20
水分量	1,465	65.02
その他	54	2.39
無回答	53	2.35
合 計	6,682	

2015年度調査集計



項 目	人数	割合 (%)
塩分	2,119	76.86
リン	1,663	59.71
カリウム	1,984	71.23
たんぱく質	472	16.94
カルシウム	316	11.34
水分量	1,964	70.52
その他	65	2.33
合 計		



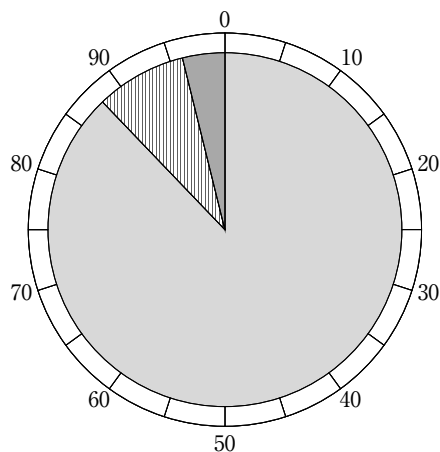
ワンポイント

「塩分」「水分」「カルウム」「リン」は透析導入時に強く注意されていることもあってか注意項目の上位を占め、前回と大きな変化はない。その他では「糖質」「鉄分」「総カロリー」「食事のバランス」などに注意している。

3. 保険・医療費

問19. あなたは医療保険を受けていますか（新設問）

2025年度調査集計



項 目	人数	割合 (%)
受けている	1,979	87.84
受けていない	187	8.30
無回答	87	3.86
合 計	2,253	100.00

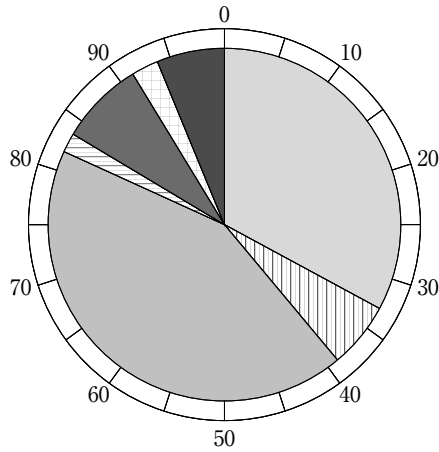


ワンポイント

新設問で9割が受けている。国民皆保険といわれる時代に「受けていない」が8.3%あるが、保険料の1年以上の滞納で保険証の返還が定められており、何らかの理由で無保険状態とみられる。

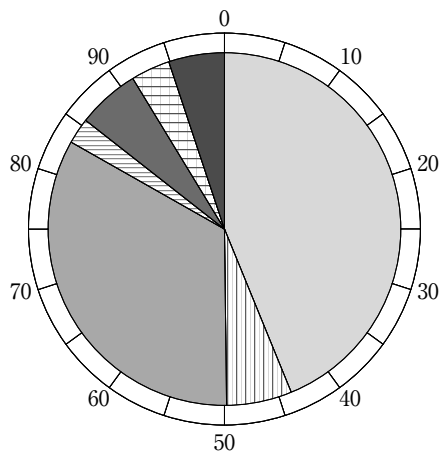
問20. あなたの医療保険は次のどれですか

2025年度調査集計



項 目	人数	割合 (%)
国民健康保険	741	32.89
組合健保	136	6.04
後期高齢者医療保険	966	42.88
共済組合保険	40	1.78
協会けんぽ	174	7.72
その他	56	2.49
無回答	140	6.21
合 計	2,253	100.00

2015年度調査集計



項 目	人数	割合 (%)
国民健康保険	1,220	43.82
組合健保	167	5.99
後期高齢者医療保険	930	33.40
共済組合保険	66	2.37
協会けんぽ	159	5.72
その他	100	3.59
無回答	143	5.11
合 計	2,785	100.00

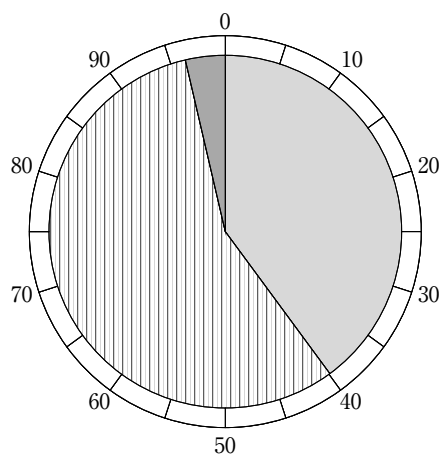


ワンポイント

後期高齢者医療保険と国民健康保険の順位と割合が逆転した。高齢化に加え、透析患者は特例として65歳で後期高齢者医療保険に移行できることも原因とみられる。また、その他では生活保護を受けているとの回答も多かった。

問21. あなたの医療費で本人負担分の支払い方法は次のどれですか

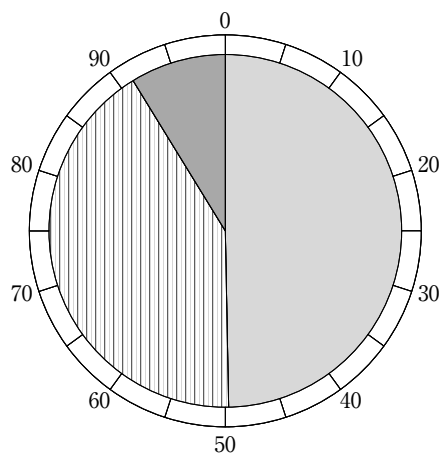
2025年度調査集計



項 目	人数	割合(%)
いったん医療機関に払う	899	39.90
医療機関に払う必要はない	1,272	56.46
無回答	82	3.64
合 計	2,253	100.00

2015年度調査集計

※医療費の本人負担分について、いったん医療機関に支払ったのち市町村に請求して還付を受けていますか。それとも、あなたが医療機関に直接支払う必要はありませんか



項 目	人数	割合(%)
いったん医療機関に払う	1,384	49.70
医療機関に払う必要はない	1,157	41.54
無回答	244	8.76
合 計	2,785	100.00

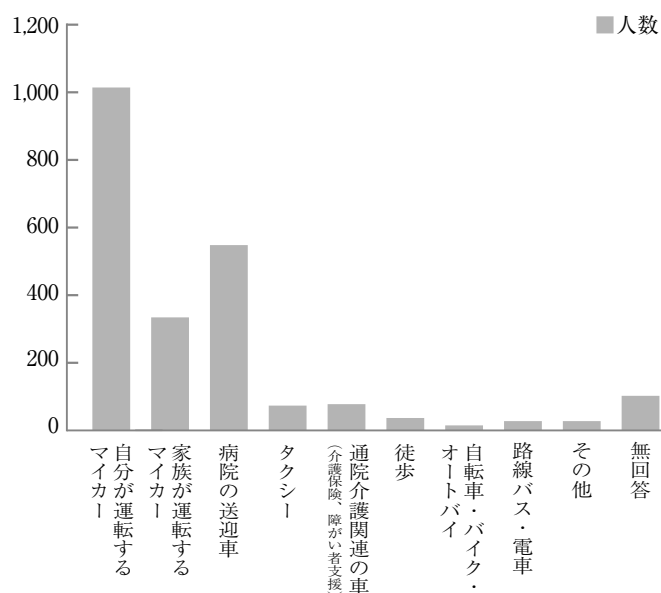
ワンポイント

いったん医療機関に支払う償還払いと支払う必要のない現物給付を問うものだが、前回に比較し逆転した。この10年で県内では白河市、田村市などが現物給付に移行したことも原因の一つとみられる。現物給付の優位性は明らかであり、約4割が現物給付に至らず、全県での現物給付実現は今後も県腎協の大きな活動目標となる。

4. 通院・介護

問22. あなたの透析施設への主な通院手段は何ですか

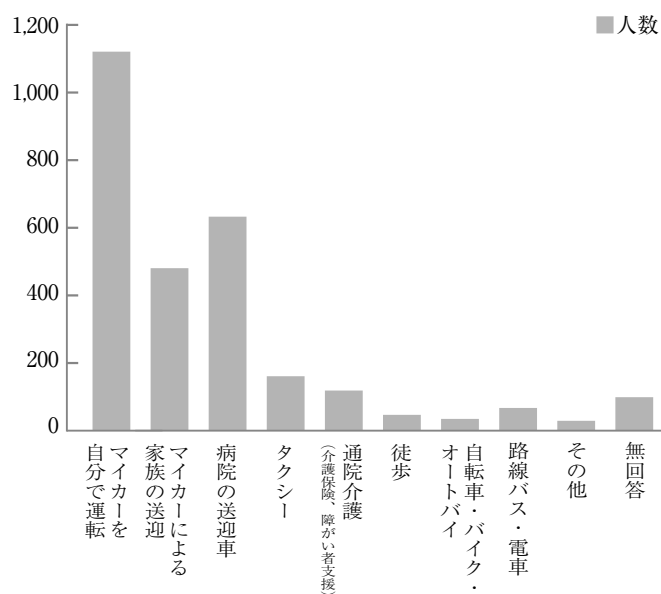
2025年度調査集計



項 目	人数	割合 (%)
自分が運転するマイカー	1,015	45.05
家族が運転するマイカー	334	14.82
病院の送迎車	548	24.32
タクシー	73	3.24
通院介護関連の車 (介護保険、障がい者支援)	77	3.42
徒歩	36	1.60
自転車・バイク・オートバイ	14	0.62
路線バス・電車	27	1.20
その他	27	1.20
無回答	102	4.53
合 計	2,253	100.00

2015年度調査集計

※通院中の方にお聞きます。あなたの主な通院の手段は何ですか

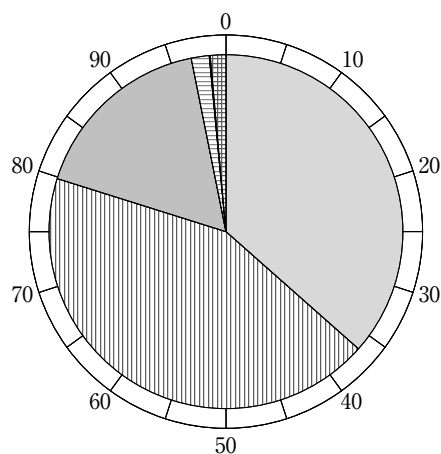


項 目	人数	割合 (%)
マイカーを自分で運転	1,122	40.29
マイカーによる家族の送迎	480	17.26
病院の送迎車	633	22.73
タクシー	160	5.75
通院介護 (介護保険、障がい者支援)	118	4.24
徒歩	46	1.65
自転車・バイク・オートバイ	34	1.22
路線バス・電車	66	2.36
その他	28	1.00
無回答	98	3.50
合 計	2,785	100.00

ワンポイント

通院手段の順位は変わらない。「タクシー」「路線バス・電車利用」が減少している一方で、「自分で運転」「病院の送迎」が増えている。送迎車を提供してくれる施設には感謝するが、路線バスの便数の削減などが影響しているのであれば問題だ。

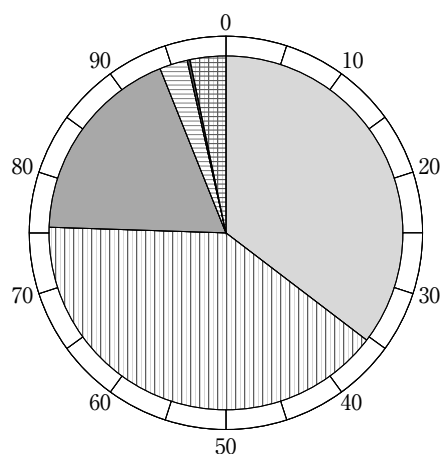
問23. 通院時間は片道どのくらいかかりますか
2025年度調査集計



項 目	人数	割合 (%)
15分未満	823	36.53
15分以上30分未満	976	43.32
30分以上1時間未満	383	17.00
1時間以上2時間未満	37	1.64
2時間以上	2	0.09
無回答	32	1.42
合 計	2,253	100.00

2015年度調査集計

※ あなたの通院時間（片道）はどのくらいですか

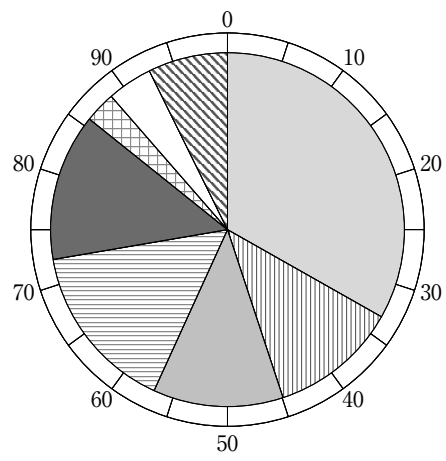


項 目	人数	割合 (%)
15分未満	985	35.37
15分以上30分未満	1,118	40.14
30分以上1時間未満	513	18.42
1時間以上2時間未満	71	2.55
2時間以上	7	0.25
無回答	91	3.27
合 計	2,785	100.00

💡 ワンポイント

通院時間に大きな変動はみられない。「30分未満」層が約8割を占め、前回査から若干増加した。病院などの送迎の増加の影響もあると思われ、高齢化を迎え、施設などの送迎車提供の果たす役割はますます大きい。とはいえ、通院に片道1時間以上かかる患者が2%弱いることは透析施設の都市部への偏在が推測される。

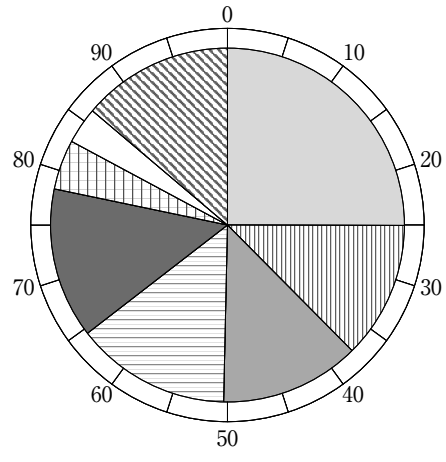
問24. あなたの1カ月の通院費は大体いくらですか
2025年度調査集計



項 目	人数	割合 (%)
1000円未満 (0円を含む)	748	33.20
1000円以上3000円未満	264	11.72
3000円以上5000円未満	268	11.90
5000円以上1万円未満	349	15.49
1万円以上2万円未満	303	13.45
2万円以上3万円未満	64	2.84
3万円以上	93	4.13
無回答	164	7.28
合 計	2,253	100.00

2015年度調査集計

※ あなたの1ヶ月間に要する通院費についてお聞きます



項 目	人数	割合 (%)
1000円未満 (0円を含む)	697	25.04
1000円以上3000円未満	349	12.53
3000円以上5000円未満	356	12.78
5000円以上1万円未満	395	14.18
1万円以上2万円未満	383	13.75
2万円以上3万円未満	127	4.56
3万円以上	93	3.34
無回答	385	13.82
合 計	2,346	100.00

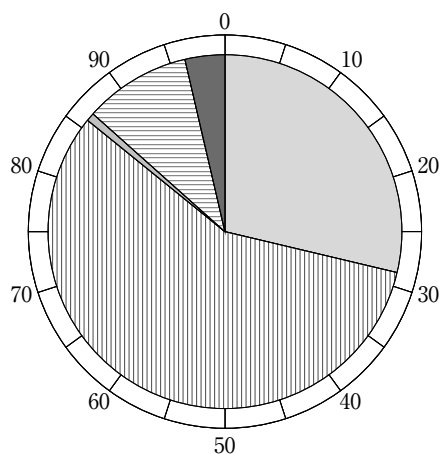
💡 ワンポイント

大きな変動はないが、ガソリン代、タクシー代、公共交通機関の値上げの中、「1,000円未満」の割合が増加し「5000円未満」までの層の合計も前回の50.35%から56.82%と6.5%増えており、送迎車提供の施設の努力、社会・介護制度の充実も大きい。

※本県のレギュラーガソリンの1ℓ当たりの平均値は2015年135円、2025年176円。

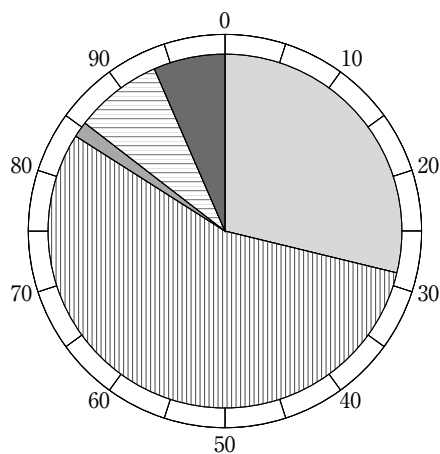
問25. あなたは福島県人工透析患者通院交通費助成を受けていますか

2025年度調査集計



項 目	人数	割合(%)
受けている	647	28.72
受けていない	1,287	57.12
申請中	17	0.75
わからない	220	9.76
無回答	82	3.64
合 計	2,253	100.00

2015年度調査集計

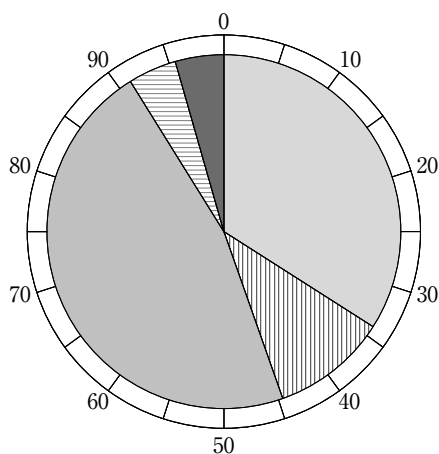


項 目	人数	割合(%)
受けている	802	28.80
受けていない	1,538	55.21
申請中	40	1.44
わからない	223	8.01
無回答	182	6.54
合 計	2,785	100.00



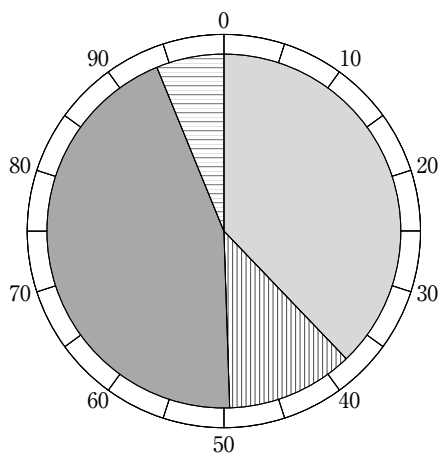
助成を受けている方の割合は約29%とほぼ、変わらない。ただ、「制度が分からない」との回答が僅かながら増えており、行政と共に県腎協の周知不足があるのか検討が必要。

問26. 問25で「2.受けていない」と回答された方にお聞きます。受けていない理由を選んでください
2025年度調査集計



項 目	人数	割合(%)
制度対象に該当しないから	438	34.03
制度対象だが、申請していない	136	10.57
制度があることを知らなかった	599	46.54
その他	57	4.43
無回答	57	4.43
合 計	1,287	100.00

2015年度調査集計

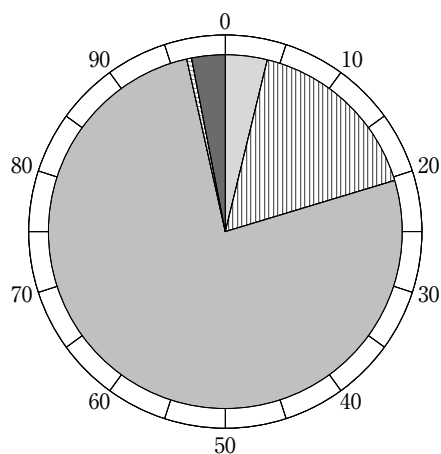


項 目	人数	割合(%)
制度対象に該当しないから	582	37.84
制度対象だが、申請していない	179	11.64
制度があることを知らなかった	682	44.34
その他	95	6.18
合 計	1,538	100.00

ワンポイント

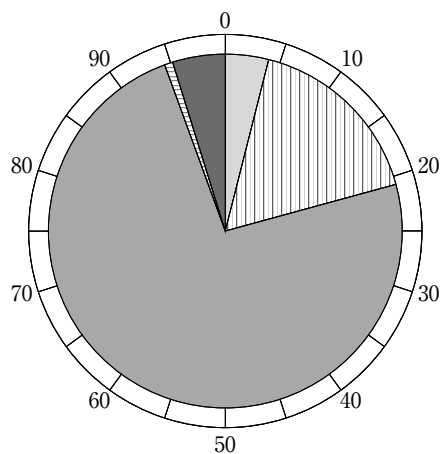
設問25とも関係するが、「制度があることが分からなかった」が前回同様に半数近くを占める。周知方法の見直し、徹底が必要とともに導入時の施設側の丁寧な説明が必要。「対象だが、申請していない」が依然、10%を超えておりその理由の解明も必要となる。その他では「施設の送迎車を利用」「行政発行のタクシー券を利用」のほか、「面倒くさい」「金額が少ないからやめた」「市役所や病院が教えてくれない」など。

問27. 日常生活で介護を受けていますか
2025年度調査集計



項 目	人数	割合(%)
全て介護を受けている	86	3.82
一部介護を受けている	372	16.51
受けていない	1,716	76.17
その他	10	0.44
無回答	69	3.06
合 計	2,253	100.00

2015年度調査集計

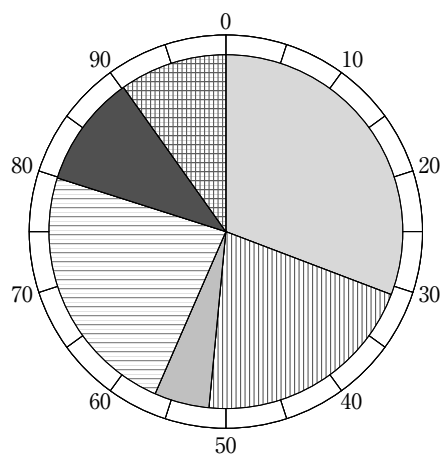


項 目	人数	割合(%)
全て介護を受けている	110	3.95
一部介護を受けている	468	16.80
受けていない	2,052	73.69
その他	21	0.75
無回答	134	4.81
合 計	2,609	100.00

💡 ワンポイント

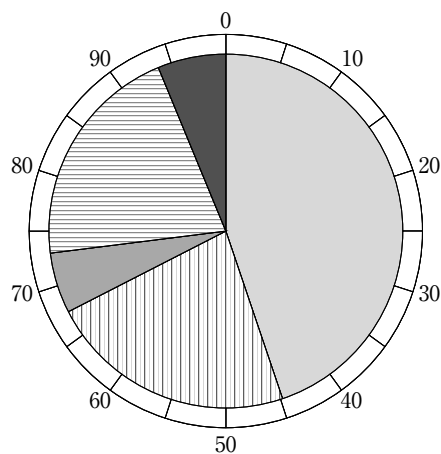
前回と割合に変化はなく、介護を受けているのは5人に一人の割合。「受けていない」の割合はやや増加して76%強だが、透析患者の平均年齢が71歳を超えた高齢化社会の中では意外。ただ、体調面から今回の調査に回答できない方の中には「介護を受けている」が多くあると推測される。

問28. 問27で「1.全て介護を受けている」「2.一部介護を受けている」と回答された方にお聞きます。主に介護をしているのはどなたですか
2025年度調査集計



項 目	人数	割合(%)
配偶者	141	30.79
同居の親族(親、子ども、兄弟姉妹)	95	20.74
同居していない親族(子ども、兄弟姉妹)	23	5.02
ホームヘルパー	107	23.36
その他	47	10.26
無回答	45	9.83
合 計	458	100.00

2015年度調査集計

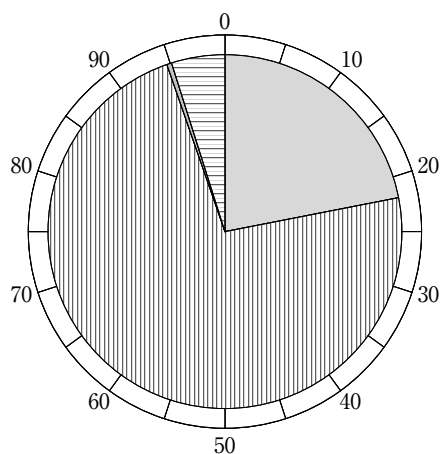


項 目	人数	割合(%)
配偶者	259	44.80
同居の親族(親、子ども、兄弟姉妹等)	131	22.66
同居していない親族(子ども、兄弟姉妹等)	32	5.54
ホームヘルパー	120	20.76
その他	36	6.23
合 計	578	100.00

ワンポイント

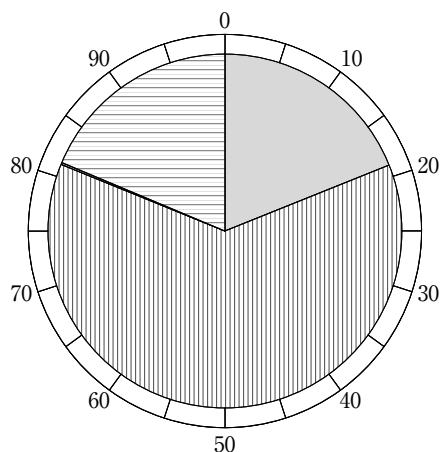
前回同様に介護してくれているのは「配偶者」が最も多いのには変わりはないが、割合が前回の約45%から31%と大きく減少した。代わって「ホームヘルパー」の割合が増加しており、介護制度の充実と共に老々介護の難しさを証明している。その他では「介護職員」など。

問29. あなたは介護保険を利用していますか
2025年度調査集計



項 目	人数	割合(%)
はい	494	21.93
いいえ	1,639	72.75
その他	10	0.44
無回答	110	4.88
合 計	2,253	100.00

2015年度調査集計

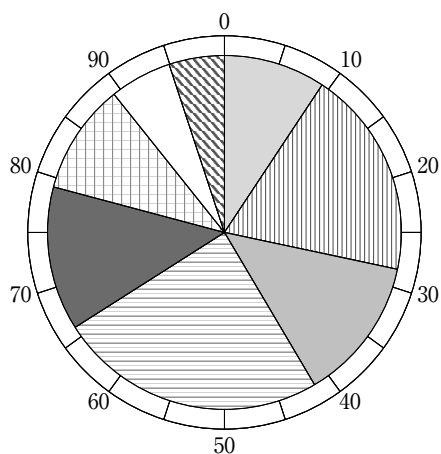


項 目	人数	割合(%)
はい	527	18.92
いいえ	1,733	62.23
その他	5	0.18
無回答	520	18.67
合 計	2,785	100.00

ワンポイント

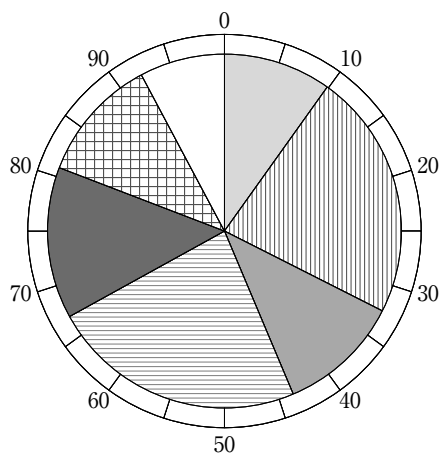
「利用」が3割増えている一方で「利用していない」の割合も増えている。回答者に比較元的元気な方が多いためとみられるが、前回は介護制度ができまだ年数がたっていない時期での調査で、周知が徹底していなかったのも原因と推測される。その他では「これから利用予定」「申請中」など。

問30. 問29で「1.はい」と回答された方にお聞きします。介護の認定はどれですか
2025年度調査集計



項 目	人数	割合(%)
要支援 1	46	9.31
要支援 2	94	19.03
要介護 1	65	13.16
要介護 2	121	24.49
要介護 3	65	13.16
要介護 4	50	10.12
要介護 5	28	5.67
無回答	25	5.06
合 計	494	100.00

2015年度調査集計

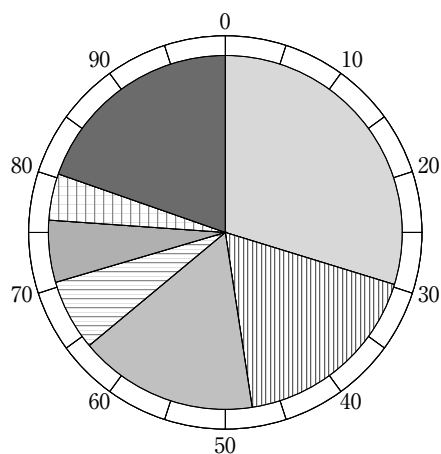


項 目	人数	割合(%)
要支援 1	52	9.87
要支援 2	119	22.58
要介護 1	59	11.20
要介護 2	123	23.33
要介護 3	73	13.85
要介護 4	60	11.39
要介護 5	41	7.78
合 計	527	100.00

ワンポイント

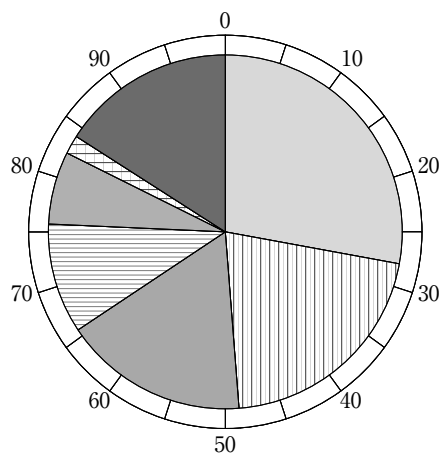
前回と比べ程度の区分けと割合に大きな変化はない。程度の重い要介護い3～5の割合が少し減少している。ただ、要介護、要支援の等級を決める基準が変わったこと、寝たきりなどで回答できない患者があることも考慮すべき。

問31. 問29で「1.はい」と回答された方にお聞きします。あなたの介護保険の利用者負担は月額いくらですか
2025年度調査集計



項 目	人数	割合(%)
5000円未満	147	29.76
5000円以上 1万円未満	88	17.81
1万円以上 2万円未満	81	16.40
2万円以上 3万円未満	32	6.48
3万円以上 5万円未満	28	5.67
5万円以上	21	4.25
無回答	97	19.64
合 計	494	100.00

2015年度調査集計



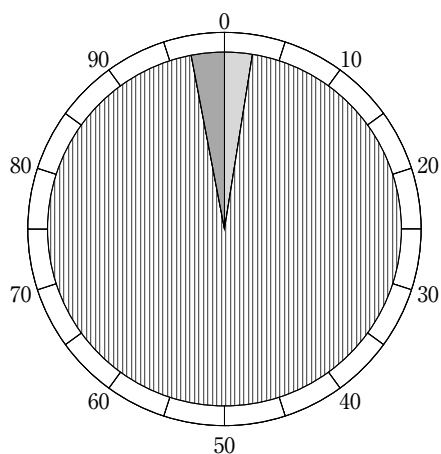
項 目	人数	割合(%)
5000円未満	147	27.89
5000円以上 1万円未満	110	20.87
1万円以上 2万円未満	89	16.89
2万円以上 3万円未満	53	10.06
3万円以上 5万円未満	35	6.64
5万円以上	9	1.71
無回答	84	15.94
合 計	527	100.00

💡 ワンポイント

前回に比べ、全体の割合に大きな変化は見られないが、「5000円未満」と「5万円以上」がそれぞれ増加しており、両極端な現象が顕著である。今回の設問にはなかったが、要介護透析患者の介護施設などへの入所拒否が問題となっており、透析患者が安心して入所できる高齢者、介護施設の確保が急務となる。

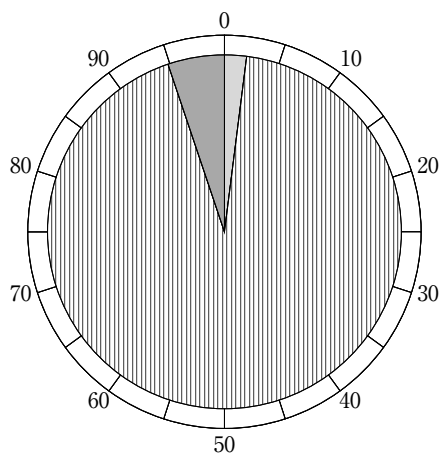
5. 移 植

問32. あなたは移植を受けたことがありますか 2025年度調査集計



項 目	人数	割合(%)
ある	57	2.53
いいえ	2,128	94.45
無回答	68	3.02
合 計	2,253	100.00

2015年度調査集計

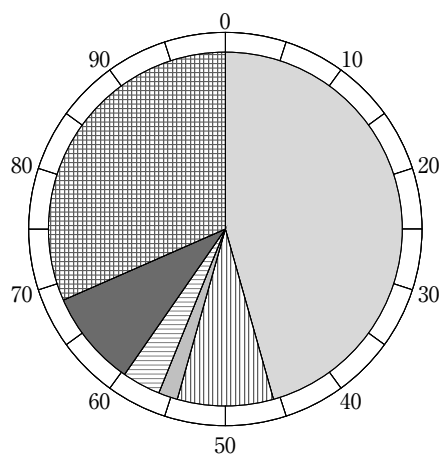


項 目	人数	割合(%)
ある	56	2.01
いいえ	2,585	92.82
無回答	144	5.17
合 計	2,785	100.00

💡 ワンポイント

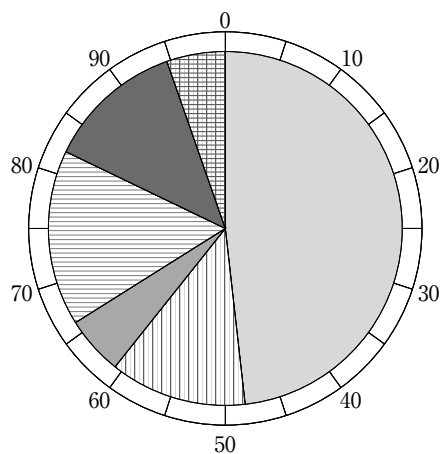
前回とほぼ同じ割合で推移している。臓器移植推進が叫ばれている中、現実として、移植が進んでいないことが伺われる。回答にはないが、年齢が高くなるにつれて「いいえ」の割合も高くなる。

問33. 問32で「1.ある」と回答された方にお聞きします。どなたから臓器の提供を受けましたか
2025年度調査集計



項 目	人数	割合(%)
親	26	45.61
兄弟姉妹	5	8.77
配偶者	1	1.75
その他の親族	2	3.51
献腎移植で(心停止、脳死を含む)	5	8.77
無回答	18	31.58
合 計	57	100.00

2015年度調査集計

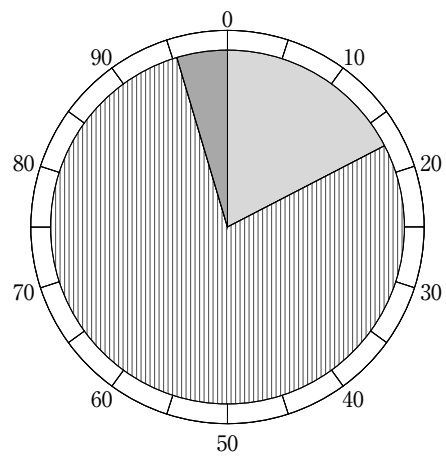


項 目	人数	割合(%)
親	27	48.21
兄弟姉妹	7	12.50
配偶者	3	5.36
その他の親族	9	16.07
献腎移植で(心停止、脳死を含む)	7	12.50
無回答	3	5.36
合 計	56	100.00

💡 ワンポイント

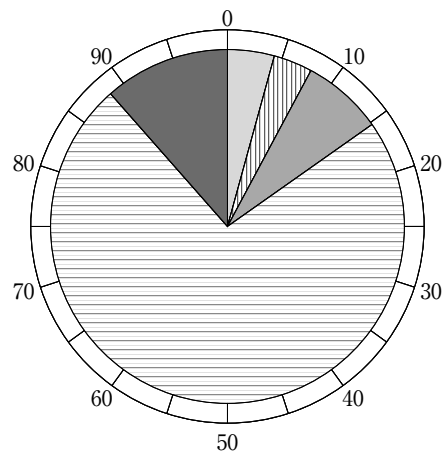
臓器提供者で最も多いのが「親」に変わりがなく、割合もほぼ同じ。一方で「献腎移植」の割合が減少しており、移植停滞の原因にもなっている。東北で腎移植希望登録者の最も多い本県としては気掛かりなところだ。

問34. あなたは臓器移植を希望しますか
2025年度調査集計



項 目	人数	割合 (%)
はい	392	17.40
いいえ	1,757	77.98
無回答	104	4.62
合 計	2,253	100.00

2015年度調査集計

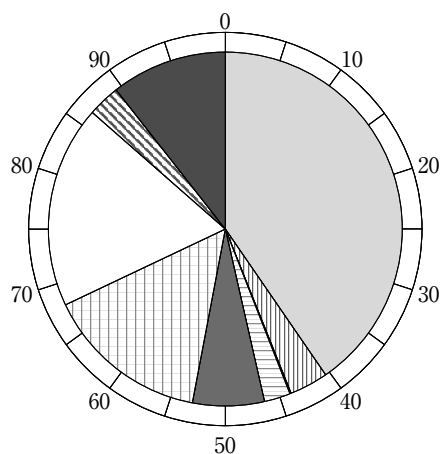


項 目	人数	割合 (%)
生体腎移植を希望	119	4.27
献腎移植を希望	99	3.55
生体・献腎移植どちらも希望	206	7.40
希望しない	2,041	73.29
無回答	320	11.49
合 計	2,785	100.00

💡ワンポイント

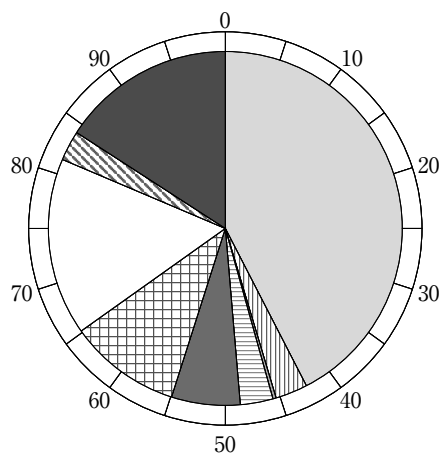
前回に比べ、選択項目を絞り、「はい」「いいえ」の二者選択とした。「はい」の割合が若干増えている一方で「いいえ」も増えており、透析技術の進歩で良好な体調が維持されていることも関係していると推測される。

問35. 問34で「2.いいえ」と回答された方にお聞きます。希望しない理由は何ですか
2025年度調査集計



項 目	人数	割合(%)
年齢的に無理だから	710	40.41
体調が悪いから	62	3.53
以前移植を受けて生着しなかったから	2	0.11
医学的に心配だから	42	2.39
経済的に不安だから	115	6.55
提供者が少なく無理だと思うから	263	14.97
透析が安定しているから	325	18.50
その他	52	2.96
無回答	186	10.59
合 計	1,757	100.00

2015年度調査集計



項 目	人数	割合(%)
年齢的に無理だと思う	866	42.43
体調が悪いから	60	2.94
以前移植を受けて生着しなかったから	6	0.29
医学的に心配だから	61	2.99
経済的に不安だから	128	6.27
提供者が少なく無理だと思うから	209	10.24
透析が安定し満足しているから	331	16.22
その他	56	2.74
無回答	324	15.88
合 計	2,041	100.00

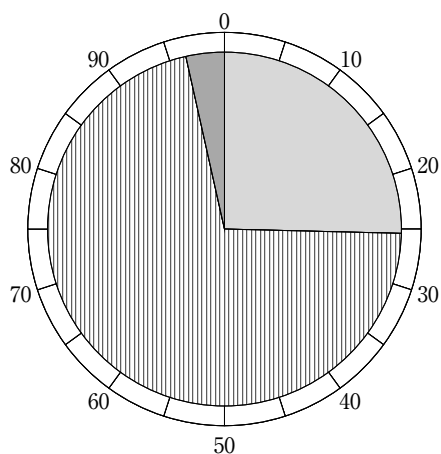
ワンポイント

希望しない理由の順位と割合に大きな変化は見られない。理由のトップが「年齢的に無理」は透析者の平均年齢、導入者の平均年齢がいずれも70歳を超えており理解できる。「透析の安定」の割合も少し増えており、この10年の透析設備、技術の進歩と関係していると思われる。その他では「移植してまでも長生きしたくない」「移植登録して18年間待ったが、対象にならずやめた」など。

6. 腎友会など

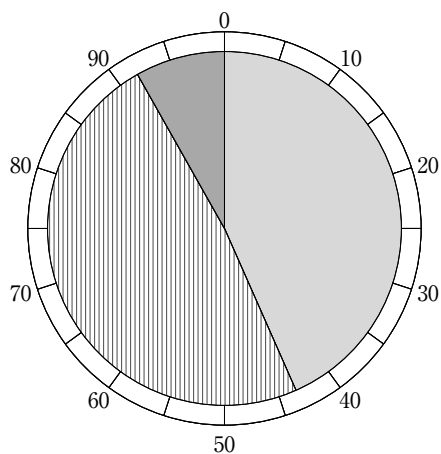
問36. 腎友会に入っていますか

2025年度調査集計



項 目	人数	割合 (%)
はい	572	25.39
いいえ	1,602	71.11
無回答	79	3.51
合 計	2,253	100.00

2015年度調査集計

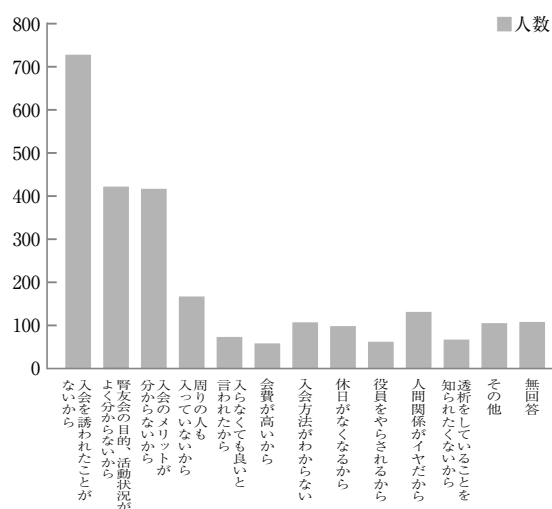


項 目	人数	割合 (%)
はい	1,208	43.38
いいえ	1,349	48.44
無回答	228	8.18
合 計	2,785	100.00

ワンポイント

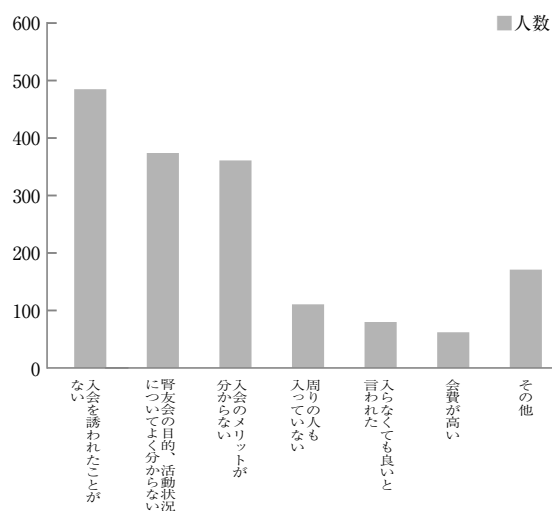
入会者の割合が大きく減少している。県腎協（腎友会）の会員は年々の減少傾向にあり、県腎協の入会率約16%（2025年11月現在）とも合致する。会員増強は県腎協最大の課題である。

問37. 問36で「2.いいえ」と回答された方にお聞きします。腎友会に入らない理由は何ですか（複数回答可）
2025年度調査集計



項 目	人数	割合(%)
入会を誘われたことがないから	729	28.52
腎友会の目的、活動状況がよく分からないから	423	16.55
入会のメリットが分からないから	418	16.35
周りの人も入っていないから	168	6.57
入らなくても良いと言われたから	74	2.90
会費が高いから	59	2.31
入会方法がわからない	108	4.23
休日がなくなるから	99	3.87
役員をやらされるから	63	2.46
人間関係がイヤだから	132	5.16
透析をしていることを知られたくないから	68	2.66
その他	106	4.15
無回答	109	4.26
合 計	2,556	

2015年度調査集計



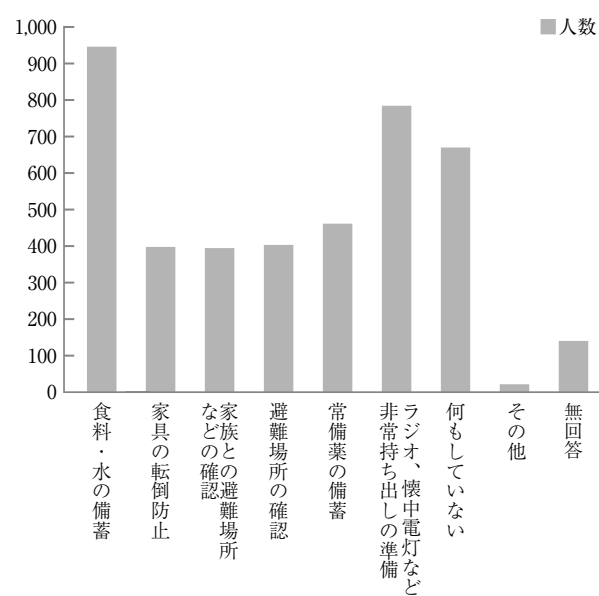
項 目	人数	割合(%)
入会を誘われたことがない	488	29.54
腎友会の目的、活動状況についてよく分からない	376	22.76
入会のメリットが分からない	363	21.98
周りの人も入っていない	111	6.72
入らなくても良いと言われた	80	4.84
会費が高い	62	3.75
その他	172	10.41
合 計	1,652	

ワンポイント

前回に比べ、選択項目を増やしたが、入会しない理由の上位の順位に変わりはない。「休日がなくなる」「人間関係がイヤ」「役員をやらされる」の回答も多く、今後の検討材料としたい。「入会方法がわからない」も4%強あり、PR不足を強く感じた。他に「仕事が忙しい」「高齢だから」のほか「会の存在を知らなかった」も複数あった。

問38. 災害の対策はしていますか（新設問・複数回答可）

2025年度調査集計



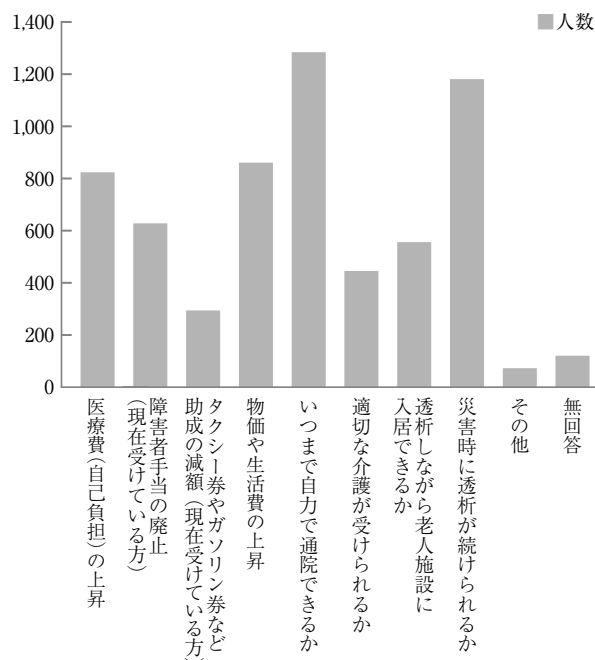
項 目	人数	割合(%)
食料・水の備蓄	945	41.94
家具の転倒防止	397	17.62
家族との避難場所などの確認	394	17.48
避難場所の確認	403	17.88
常備薬の備蓄	461	20.46
ラジオ、懐中電灯など非常持ち出しの準備	783	34.75
何もしていない	669	29.69
その他	22	0.97
無回答	140	6.21
合 計	4,214	

ワンポイント

東日本大震災と東電原発事故の被災県としての新たな設問。「食料・水」「非常持ち出し」「常備薬」の備蓄は予想されたが、「何もしていない」が約29%あったのは意外だった。災害対策は県腎協活動の柱の一つであり力を入れたい。その他では「施設が対応してくれる」が多数あり、「ヘルメットの準備」などもみられた。

問39. 透析を続けていて将来に向けて不安なことはありますか（新設問・複数回答可）

2025年度調査集計



項 目	人数	割合 (%)
医療費（自己負担）の上昇	823	36.52
障害者手当の廃止（現在受けている方）	628	27.87
タクシー券やガソリン券など助成の減額（現在受けている方）	293	13.00
物価や生活費の上昇	860	38.17
いつまで自力で通院できるか	1,284	56.99
適切な介護が受けられるか	445	19.75
透析しながら老人施設に入居できるか	556	24.67
災害時に透析が続けられるか	1,181	52.41
その他	72	3.19
無回答	120	5.32
合 計	6,262	

ワンポイント

将来の不安についての新設問。通院、災害、物価高、自己負担への不安が多かった。災害への不安は東日本大震災の被災県ならではと思われる。介護、施設への入居など、高齢化社会への不安も目立った。これらの意見を県腎協活動の参考としたい。その他では「育児との両立」「生活費の苦勞」のほか、「死ぬまで透析を続けることへの不安」「透析が出来なくなってしまうからの苦痛や不安」「透析を止める時期の意志決定」など終末期の不安が多かった。

〔実態調査・調査票〕

2025年 福島県透析患者実態調査

主催 福島県腎臓病協議会

共催 日本透析医会福島県支部

調査票

福島県腎臓病協議会は5年毎（2020年はコロナで中止）に透析患者の実態調査を実施しており、透析患者の実態を把握して今後のより安全で充実した腎疾患総合対策推進の基礎資料といたします。

調査は無記名で行い、個人情報の保護は厳守します。また、調査集計、データは厳重に管理し、腎疾患関連の調査、研究以外には使用しません。

誠に恐縮ですが、調査にご協力願います。

記入方法

- ① 2025年7月1日時点の状況についてお答えください。
- ② 添付の回答票の番号を○で囲み、記入後、切り離してください（設問4のみ住所地記入）。

回収方法

- ① 腎友会のある医療施設の患者さん、腎友会の会員は記入後、切り離した回答票を各病院腎友会の役員に手渡すなど役員の指示に従ってください。
- ② 腎友会の無い医療施設の患者さんは担当のスタッフにお渡しください。

実施団体 福島県腎臓病協議会

〒964-0891

二本松市大壇9 インターグリーンハイツI 101号

TEL：0243(23)4721 FAX：0243(23)4015

Emai：fjk@viola.ocn.ne.jp



本調査は、皆様からお寄せいただいた
赤い羽根共同募金が活用されています。

施設番号

--	--	--

(ここは記入しないでください)

個人番号

--	--	--

(ここは記入しないでください)

透析患者実態調査回答票

設問	備考	回 答
1		1・2
2		1・2・3・4
3		1・2・3・4・5・6・7・8・9・10
4		市町村名 (市・町・村)
5		1・2・3・4・5・6・7・8 その他 (具体的に)
6		1・2・3 その他 (具体的に)
7		1・2・3・4・5・6・7
8		1・2・3・4
9		1・2・3・4・5・6・7・8・9・10 その他 (具体的に)
10		1・2・3・4・5・6 その他 (具体的に)
11		1・2・3・4・5・6・7
12		1・2・3・4・5・6・7・8・9・10
13		1・2・3・4・5・6
14		1・2・3・4・5 その他 (具体的に)
15		1・2・3
16	(複数可)	1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11・12・13・14 その他 (具体的に)
17	(複数可)	1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11・12 その他 (具体的に)
18	(複数可)	1・2・3・4・5・6・7 その他 (具体的に)

設問	備考	回	答
19		1・2	
20		1・2・3・4・5・6 その他（ 具体的に（	）
21		1・2	
22		1・2・3・4・5・6・7・8・9 その他（ 具体的に（	）
23		1・2・3・4・5	
24		1・2・3・4・5・6・7	
25		1・2・3・4	
26		1・2・3・4 その他（ 具体的に（	）
27		1・2・3・4 その他（ 具体的に（	）
28		1・2・3・4・5 その他（ 具体的に（	）
29		1・2・3 その他（ 具体的に（	）
30		1・2・3・4・5・6・7	
31		1・2・3・4・5・6	
32		1・2	
33		1・2・3・4・5	
34		1・2	
35		1・2・3・4・5・6・7・8 その他（ 具体的に（	）
36		1・2	
37	(複数可)	1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11・12 その他（ 具体的に（	）
38	(複数可)	1・2・3・4・5・6・7・8 その他（ 具体的に（	）
39	(複数可)	1・2・3・4・5・6・7・8・9 その他（ 具体的に（	）

2025年 福島県透析患者実態調査 質問事項

この冊子2枚目の回答票に記入し、ご提出ください。

I 基本事項

〔問1〕あなたの性別を教えてください。

1. 男性
2. 女性

〔問2〕あなたは同居している家族がいますか。該当するものを一つ選んでください。

1. 一人暮らし
2. 配偶者のみ
3. 配偶者及び子ども、親ら親族
4. その他

〔問3〕あなたは何歳ですか。該当するものを一つ選んでください。

1. 10歳未満
2. 10～19歳
3. 20～29歳
4. 30～39歳
5. 40～49歳
6. 50～59歳
7. 60～69歳
8. 70～79歳
9. 80～89歳
10. 90歳以上

〔問4〕あなたのお住まいはどこですか。

(市・町・村)

〔問5〕あなたの職業は何ですか。該当するものを一つ選んでください。

1. 無職
2. 会社員
3. 公務員
4. 団体職員
5. 農林漁業の自営
6. 商工サービス業の自営
7. 学生
8. その他（具体的に

)

〔問 6〕 無職の方に伺います。働く意志はありますか。

1. ある
2. いいえ
3. その他（具体的に _____ ）

〔問 7〕 あなたの昨年の年収はいくらでしたか（年金を含む）。該当するものを一つ選んでください。

1. 50万円未満
2. 50万円以上 100万円未満
3. 100万円以上 300万円未満
4. 300万円以上 500万円未満
5. 500万円以上 800万円未満
6. 800万円以上 1,000万円未満
7. 1,000万円以上

Ⅱ 治療状態

〔問 8〕 あなたが透析を受けている医療施設は次のどれですか。

1. 県立（県立医大付属病院を含む）、市町村立、公立病院
2. 民間病院
3. クリニックなどの診療所
4. その他

〔問 9〕 あなたが慢性腎不全（透析）になった主な原因は何ですか。該当するものを一つ選んでください。

1. 慢性糸球体腎炎
2. 糖尿病性腎症
3. 慢性腎盂炎
4. ネフローゼ症候群
5. 妊娠中毒症
6. のうほう腎
7. 腎硬化症
8. 悪性高血圧
9. 不明
10. その他（具体的に _____ ）

〔問10〕腎臓の病気はどのようにわかりましたか。

1. 学校検診
2. 職場健診
3. 成人病検診(人間ドックを含む)
4. 病院、診療所での診察
5. 他の病気の治療中に発見 (具体的な病名)
6. その他 (具体的に)

〔問11〕腎臓の病気になってから透析(腹膜透析を含む)導入までの期間はどのくらいでしたか。該当するものを一つ選んでください。

1. 1年未満
2. 1年以上 3年未満
3. 3年以上 5年未満
4. 5年以上 10年未満
5. 10年以上 15年未満
6. 15年以上 20年未満
7. 20年以上

〔問12〕あなたは透析(腹膜透析を含む)を受けるようになってからどのくらいになりますか。該当するものを一つ選んでください。

1. 1年未満
2. 1年以上 5年未満
3. 5年以上 10年未満
4. 10年以上 15年未満
5. 15年以上 20年未満
6. 20年以上 25年未満
7. 25年以上 30年未満
8. 30年以上 35年未満
9. 35年以上 40年未満
10. 40年以上

〔問13〕現在の透析方法は何ですか。該当するものを一つ選んでください。

1. 血液透析(HD)
2. 血液ろ過透析(HDF)
3. 腹膜透析
4. 血液透析と腹膜透析の併用
5. オンラインHDF
6. 分からない

(問14) あなたの1回あたりの透析時間は

1. 3時間以上 4時間未満
2. 4時間以上 5時間未満
3. 5時間以上 6時間未満
4. 6時間以上
5. その他（具体的に

)

(問15) あなたの透析開始通常何時頃からですか。

1. 午前中
2. 正午から午後5時まで
3. 夜間(午後5時以降開始または午後9時以降終了)

(問16) あなたは合併症がありますか。該当するものを選んでください。(複数回答可)

1. かゆみ
2. 骨障害
3. シェントトラブル
4. 手根管症候群
5. 視聴覚障害
6. 心臓機能障害
7. 高血圧・低血圧
8. 消化器障害
9. 神経障害
10. 副甲状腺機能障害
11. 脳血管障害
12. 認知症
13. その他（具体的に
14. 合併症はない

)

〔問17〕 この3年間に入院の経験のある方にお尋ねします。入院の主な原因は何ですか。該当するものを選んでください。(複数回答可)

1. 心疾患
2. 大動脈・抹消血管疾患
3. 脳血管疾患
4. 感染症(新型コロナを除く)
5. がん
6. 腎移植
7. 整形外科疾患
8. 内分泌関連
9. バスキュラーアクセス
10. 新型コロナ
11. 不明
12. その他(具体的に)

〔問18〕 日常の食事でどんな点に注意していますか。該当するものを選んでください。(複数回答可)

1. 塩分
2. リン
3. カリウム
4. たんぱく質
5. カルシウム
6. 水分量
7. その他(具体的に)

Ⅲ 保険・医療費

〔問19〕 あなたは医療保険をうけていますか。

1. 受けている
2. 受けていない

〔問20〕 あなたの医療保険は次のどれですか。該当するものを一つを選んでください。

1. 国民健康保険
2. 組合健保
3. 後期高齢者医療保険
4. 共済組合保険
5. 協会けんぽ
6. その他(具体的に)

〔問21〕 あなたの医療費で本人負担分の支払い方法は次のどちらですか。

1. いったん医療機関に払う
2. 医療機関に払う必要はない

IV 通院・介護

〔問22〕 あなたの主な透析施設への通院手段は何ですか。該当するものを一つ選んでください。

1. 自分が運転するマイカー
2. 家族が運転するマイカー
3. 病院の送迎車
4. タクシー
5. 通院介護関連の車(介護保険、障がい者支援)
6. 徒歩
7. 自転車・バイク・オートバイ
8. 路線バス・電車
9. その他（具体的に _____ ）

〔問23〕 通院時間は片道どのくらいかかりますか。該当するものを一つ選んでください。

1. 15分未満
2. 15分以上 30分未満
3. 30分以上 1時間未満
4. 1時間以上 2時間未満
5. 2時間以上

〔問24〕 あなたの1カ月の通院費は大体いくらですか。該当するものを一つ選んでください。

1. 1,000円未満（0円を含む）
2. 1,000円以上 3,000円未満
3. 3,000円以上 5,000円未満
4. 5,000円以上 1万円未満
5. 1万円以上 2万円未満
6. 2万円以上 3万円未満
7. 3万円以上

〔問25〕 あなたは福島県人工透析患者通院交通費助成を受けていますか。該当するものを一つ選んでください。

1. 受けている
2. 受けていない
3. 申請中
4. わからない

〔問26〕 問25で「2. 受けていない」と回答された方にお聞きします。受けていない理由を一つ選んでください。

1. 制度対象に該当しないから
2. 制度対象だが、申請していない
3. 制度があることを知らなかった
4. その他（具体的に _____）

〔問27〕 日常生活で介護を受けていますか。該当するものを一つ選んでください。

1. すべて介護を受けている
2. 一部介護を受けている
3. 受けていない
4. その他（具体的に _____）

〔問28〕 問27で「1. すべて介護を受けている」「2. 一部介護を受けている」と回答された方にお聞きします。主に介護をしているのはどなたですか。該当のものを一つ選んでください。

1. 配偶者
2. 同居の親族(親、子ども、兄弟姉妹)
3. 同居していない親族(子ども、兄弟姉妹)
4. ホームヘルパー(ガイドヘルパーを含む)
5. その他（具体的に _____）

〔問29〕 あなたは介護保険を利用していますか。該当するものを一つ選んでください。

1. はい
2. いいえ
3. その他（具体的に _____）

〔問30〕 問29で「1. はい」と回答された方にお聞きします。介護の認定はどれですか。一つ選んでください。

1. 要支援 1
2. 要支援 2
3. 要介護 1
4. 要介護 2
5. 要介護 3
6. 要介護 4
7. 要介護 5

〔問31〕 問29で「1. はい」と回答されたかにお聞きします。あなたの介護保険の利用者負担は月額いくらですか。一つ選んでください。

1. 5,000円未満
2. 5,000円以上 1万円未満
3. 1万円以上 2万円未満
4. 2万円以上 3万円未満
5. 3万円以上 5万円未満
6. 5万円以上

V 移植

〔問32〕 あなたは移植を受けたことがありますか。

1. ある
2. いいえ

〔問33〕 問32で「1. ある」と回答された方にお聞きします。どなたから臓器の提供を受けましたか。

1. 親
2. 兄弟姉妹
3. 配偶者
4. その他の親族
5. 県腎移植で(心停止、脳死を含む)

〔問34〕 あなたは臓器移植を希望しますか。

1. はい
2. いいえ

〔問35〕 問34で「2. いいえ」と回答された方にお聞きします。希望しない理由は何ですか。該当するものを一つ選んでください。

1. 年齢的に無理だから
2. 体調が悪いから
3. 以前移植を受けて生着しなかったから
4. 医学的に心配だから
5. 経済的に不安だから
6. 提供者が少なく無理だと思うから
7. 透析が安定しているから
8. その他（具体的に

)

VI 腎友会など

〔問36〕 腎友会に入っていますか。

1. はい
2. いいえ

〔問37〕 問36で「2. いいえ」と回答された方にお聞きします。腎友会に入らない理由はなんですか。(複数回答可)

1. 入会を誘われたことがないから
2. 腎友会の目的、活動状況がよく分からないから
3. 入会のメリットが分からないから
4. 周りの人も入っていないから
5. 入らなくても良いと言われたから
6. 会費が高いから
7. 入会方法がわからない
8. 休日がなくなるから
9. 役員をやらされるから
10. 人間関係がイヤだから
11. 透析をしていることを知られたくないから
12. その他（具体的に

)

〔問38〕 災害の対策準備はしていますか。該当するものを選んでください。(複数回答可)

1. 食糧・水の備蓄
2. 家具の転倒防止
3. 家族との避難場所などの確認
4. 避難場所の確認
5. 常備薬の備蓄
6. ラジオ、懐中電灯など非常持ち出しの準備
7. 何もしていない
8. その他（具体的に

)

〔問39〕透析を続けていて将来に向けて不安なことはありますか、該当するものを選んでください。(複数回答可)

1. 医療費(自己負担)の上昇
2. 障害者手当の廃止(現在受けている方)
3. タクシー券やガソリン券など助成の減額(現在受けている方)
4. 物価や生活費の上昇
5. いつまで自力で通院できるか
6. 適切な介護が受けられるか
7. 透析しながら老人施設に入居できるか
8. 災害時に透析が続けられるか
9. その他(具体的に)

2025年福島県透析患者実態調査報告書

発行日 2026年7月1日

発行者 福島県腎臓病協議会

〒964-0891 二本松市大壇9 インターグリーンハイツI 101号

TEL 0243(23)4721 FAX 0243(23)4015

